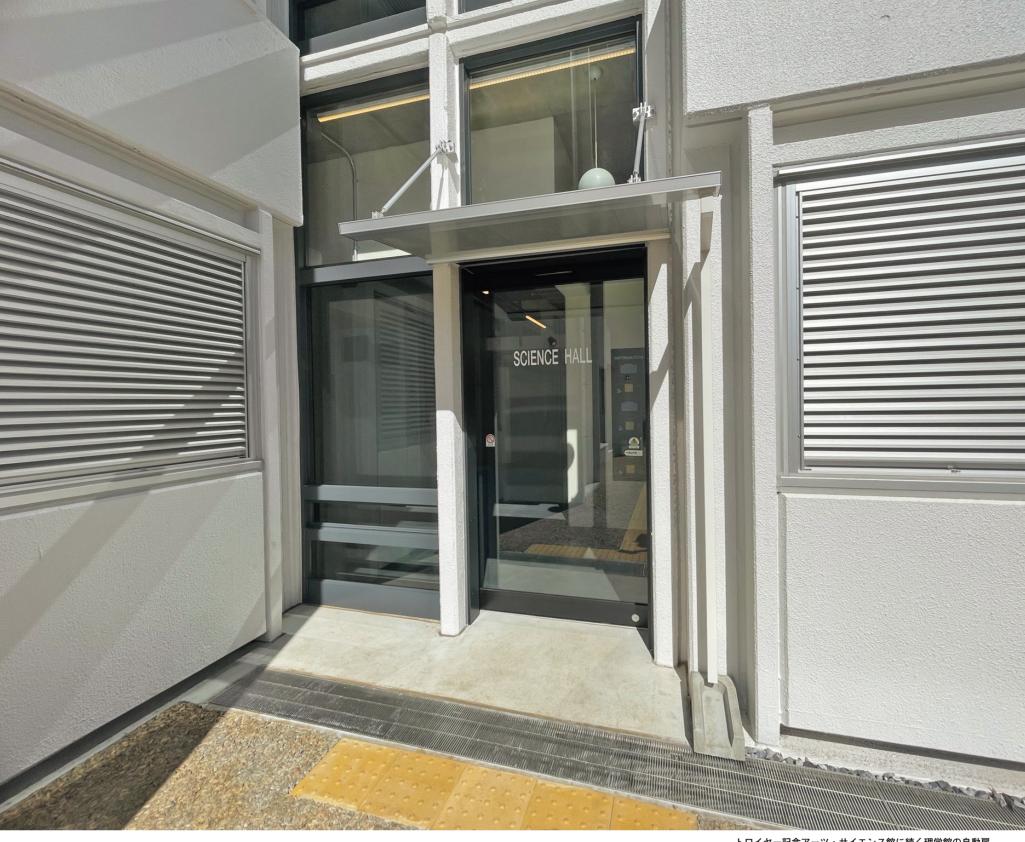


# INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY ICU ALUMNI ASSOCIATION 3-10-2, Osawa Mitaker-shi, Tokyo 180-8585 TEL&FAX: 0422 33 3320 https://www.lcualumni.com/E-mail: acoffice@icualumni.com/S-mail: acoffice@icualumni.com/S-mail:



・サイエンス館に続く理学館の自動扉

## リヘフルアーツをすべての人に! バリアフリー教養大学の挑戦

ハンディキャップがあるから、マイノリティだからという理不尽な理由で、学ぶチャンスを奪われている人たちがいる。 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由といった身体に障害を持つ人も、少数民族、被差別部落出身、LGBTQなど社会的マイノリティも、 誰もがリベラルアーツを学ぶことのできるオールオンラインの大学を、ICU出身者が中心となって立ち上げようとしている。 それがバリアフリー教養大学だ。

文: 福本高宏 (32 ID88、本誌)、写真: バリアフリー教養大学/ICU/福本高宏

※表記について:国が定める法令等では「障害」を用いていること、「障害は社会の側にあり障害者はその害を被っている」という 「社会モデル」の考え方などから、本記事中では原則として「障害」と表記している。

### バリアフリー教養大学について

見えない人、聞こえない人、ページをめくれない人、移動できない人、そ の他どんな環境の人でも学び、働くことのできる完全オンラインの大学。ダ イバーシティを重視し「さまざまな人がいて当然」という前提で教授法・教 材を準備。幅広いリベラルアーツの学びを斉藤くるみ学長はじめ一流の教授 陣が提供する。身体障害、少数民族文化、被差別部落、LGBTQなどについ て自身の言葉で語れるマイノリティ当事者の教員も多数。理事長に全盲で社 会福祉法人日本ライトハウス理事の日比野清、学部長に元名古屋大学教授の 辻浩、顧問に全盲ろうで東京大学先端科学技術研究センター特任教授の福島 智の各氏が就任予定。定員は225人。2026年春開校を目指し、設立準備中。 Webサイトはhttps://barrierfreeliberalarts.com





### 特別インタビュー

バリアフリー教養大学を構想し、設立に向け中心となって奔走する斉藤くるみ先生(26 ID82, G1990)にお話を伺った。

### なぜバリアフリーの大学か

斉藤: そもそも日本では障害やマイノリティに対する関心が薄いので、それを打ち破るにはまず大学が変わらないといけないと思います。文部科学省の調査によると、日本で特別支援学校からの大学進学率は1%で、障害者が全学生中に占める割合も1.5%。学生のうち5~6分の1が障害者であるアメリカやイギリスと比べると、格段の差があります。「障害者は何も大学まで行かなくても」というのが、私たちの潜在意識にあるのではないでしょうか。

する側もされる側も「当たり前」に なってしまっているのが日本社会の差 別構造であり「障害者は能力が低くて 当たり前」と、多くの人が思っている ように感じられます。けれども例えば 聞こえない人は聞こえないだけで、他 の能力は試してみないとわからないは ずです。

私はICU卒業後、日本社会事業大学 (以下、社事大)に定年までいました が、私たちにとってはささいなことや 何気ない発言が、マイノリティ当事者 にとってはものすごく重大だったり不 利益だったり、傷つけることだったり することを長い年月の中で学びました。

いま準備している大学は、障害者とかアイヌ民族とか被差別部落出身者とか、教える人の半分は当事者と決めていますが、優秀な人がたくさんいます。マイノリティで優秀な人は、探せば日本中もっと大勢いるはずです。でもチャンスは限られていて、現在活躍している人たちは私たちよりはるかに多くの苦労をしてきている。

だから世の中を変えるには、大学の教授でマイノリティの人が発信していく、本を書いたりマスコミで話したりしていくことが必要で、そのことによってだんだんに抵抗がなくなり、普通になっていくのではないか。障害があろうが民族が違おうが、いろんな人がいるだけであって、優秀さは何ひとつ変わらないという当たり前が広がっていくように思います。

### 関心を持ったきっかけ

斉藤:ICUの恩師である小林栄智先生に背中を押されて入ったのが社事大でした。そこでの初めての英語の授業で、教室のいちばん前にろうの学生が座っていたんです。とても熱心で優秀な女子学生でしたが、英語となると発音が絶対必要になるので、これはどうしよ

うと思い、授業を音なしでやったりとか、いろいろ試みていました。そんなある時、ICUの大学院の後輩である原大介さん(G1991)に、今回バリアフリー教養大学のファカルティメンバーにも入っている森壮也さんを紹介してもらったんです。彼はろう者で、留学もしているし早稲田大学の大学院にも行って、アジア経済研究所の研究員をしていました。彼の話を居酒屋でひと晩聞いて「言語は音じゃないんだ」と直感し、目から鱗が落ちました。

私たちは、手話も手旗信号のように、「あいうえお」の音声言語に合わせてあるものだと思いがちです。けれどもそれは音声言語を中心に考えている偏見で、実は彼らの言語は音とは切り離されており、音声言語とは全然違う文法がある。それで人間の言語能力というのは音に頼らなくても、光なら光でできるし、いろいろあることに気づいたわけです。

同じ頃、手話話者が失語症になった ときの研究結果が発表されました。健 常者が失語症になっても空間的な表現 やジェスチャーはできるのと同じ現象 で、ろう者が失語症になるとジェスチ ャーは問題なくできるのに、手話を間 違えるようになるという内容です。私 たちから見ると手話とジェスチャーは 似ているけれど、脳の中では全く違う。 音声言語と同様に、言語を生み出す仕 組みで手話を発している。だから手話 話者が失語症になると手話はできなく なるけれど、ジェスチャーは私たちと 同じで影響を受けない。そのことに感 銘を受けて、それから脳と言語の関係 が面白くなり脳科学の研究を始め、そ の流れでろうの知識人を集めて「手話 で学ぶ法学」や「手話で学ぶ遺伝子の 話」などのコースを作りました。

手話で教えると、ろうの学生が喜ぶんです。大学の枠を超えて関東中の学生がその授業を受けに来ました。理由はふたつあって、分かりやすいというのがひとつ。もうひとつは自分の言語で学べることのプライドです。音声言語が聞こえないというだけで欠陥があるように見られてきた人たちが、自分の言語で大学レベルの勉強ができるということの喜びがあったわけです。

同時に気づいたのが、そこで集めた 優秀な先生方が、大学の先生になれて いないことでした。研究者なのに大学 にポストがないのです。もし障害者差 別がなかったら、私はこのポストにい なかったかも知れない。差別構造の中



斉藤**くるみ** SAITO, Kurumi

日本社会事業大学名誉教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員、視覚聴覚障害アドボカシー研究所所長。バリアフリー教養大学ではマイノリティの人権問題やマイノリティ研究における研究倫理のほか、視覚・聴覚などに惑わされない、脳科学的アプローチを取り入れた「言語学」「英語学」「英語」を担当。いまのアクティブさからは想像がつかないが、若いころは病弱で高校に行けず、大検を経てICUに入学。入学後も1,2年時は授業が終わるとすぐ帰宅し寝る生活だったそう。「いま考えると、あのころ弱い立場にあったことや、大学に通うのがしんどかったことが、私の活動に繋がっているのかもしれません」(斉藤さん談)

で不利益を受けている人が、どれだけたくさんいるんだろうということを考えるようになりました。

### 視覚障害にも取り組む

斉藤: ろう教育の活動を無我夢中でやっているうちに、「盲についてはやらないのですか」という声をいただくようになりました。最初は無理だと思ったのですが、やれるものならやろうと考え、定年前の数年間は助成金をもらって視覚障害にも取り組んだんです。そうすると視覚障害者で立派な研究をしている方、卓越した活動をしている方たちとも巡り合えるようになりました。

学びにおいて視覚や聴覚は大きな位置を占めるので、ろうや盲の人は似たような不利益を被り、似たような苦しみを背負ってきたという共通のところがあります。その一方で認知構造が全然違うので、それぞれが別々の文化、「ろう文化」「盲文化」を築き上げ受け継いできたという側面もある。学問的にもそういったことがとても興味深く感じられました。

多様な学生や教員を受け入れることで、当事者でなくとも「ろう文化」「アイヌ文化」などに興味・関心を持つ学生が増えていく。これまで学問的に日陰だったところに明かりを照らす。教員として研究者として、社事大時代

に続けてきた取組みを退職しても止め たくなくて、文科省に「視覚障害や聴 覚障害にも対応できて、誰が入ってき ても学べるような大学を作りたい」と 相談に行ったら、「反対する理由があ りません」と言われたので、ああ、そ れならと思ったわけです。

### 入試や単位取得の特徴

斉藤:同じことを伝えるにも障害によって文法や表現が異なるので、入試の採点者には同じ障害のある人を加えます。学費は入学金が10万円で授業料が設備費含め29万円(年額)ですが、障害や事情に応じて在籍延長や、延長時の授業料免除などの制度もあります。手話動画によるレポートや卒業研究も認める方向で考えています。

### 待ち望まれる大学

斉藤:自分の言語で学べることが当たり前じゃない人がいっぱいいます。全盲の人は、実はいまでも少なからず点字や音声データにした教科書がないまま授業を受けています。改正障害者差別解消法(2024年4月施行)で対応が義務化されても間に合っていないんです。だから授業は聞いているだけ。他の学生は教科書を持っているのに自分には文献がない。障害のある学生の割合がアメリカやイギリスの1割にも満たない理由のひとつには、そういう



ディッフェンドルファー記念館東棟のエレベーター

物理的な課題もあります。

社会が準備できていないというハードの面と同時に、周囲の固定観念の問題もあります。親御さんでさえ「大学なんか行ったって、見えないのにどうやって勉強するの?」などと当たり前に言ってしまうので、最初から諦めてしまうんです。

高校の先生もそうです。「大学に行 きたい」と言うと怒る先生がいます。 私の知っているろうの生徒は、「お前 のような成績の悪い人間が大学に入れ るわけがないだろう」と進路指導室に 閉じ込められて、「これが障害者枠の ある企業だから、今日中にどれか選ん で」と言われたそうです。盲学校も同 様で、偏差値で合格可能性が50%以 上にならないとその大学を受けさせな いそうです。「点訳するなど、たいへ んな手間とお金がかかり人様に迷惑を かけるんだから、通る可能性のある大 学しか受けてはいけない」と。全部が 全部そうではないにせよ、このような 状況で進学率が上がるわけがない。

身体に障害がある人以外にも、いまの高校生でLGBTQなどマイノリティであることにより、大学に行くのが気が重い生徒もいます。過去に遡れば、時代のせいで大学に行きたいのに行けなかった人が何十年間にわたって存在しています。バリアフリー教養大学は、障害も背景も年齢も関係なく、それらすべての人に門戸を開きます。

### 授業はオンライン

斉藤: 文科省が推奨しているCOIL型教育(注1)を取り入れます。オンラインなら運営コストや学費も抑えられるし、通学が難しいという問題も解決します。「寝たきりの人でも学べるような大学にしたい」と思っていた矢先、総務省の異能β(注2)にも選ばれている小野克樹さんと巡り合いました。彼は寝たきりで、座ることも歩くことも喋ることもできませんが、口でパソコンを操作してアプリなどを作ってくれます。この間も、教師が話したことを文字にしてスマートフォンやパソコンに表示する聴覚障害者のための

アプリを新たたに開発してくれました。 それまでは別のアプリを、他大学の開 発者の方にそのつど許可を得て使わせ てもらっていたのですが、その手間が 省けたうえ、とても使いやすいと評判 は上々です。

メッセージがまた素晴らしい。彼のような難病の場合、ある時点で人工呼吸器を使うようになるのですが、「人工呼吸器をつけるくらいなら拒否して死ぬ」という人が少なくないのだそうです。だけど彼は「それは大きな間違いだ。これだけITが進んだいまの環境なら何でもできるのだから。命の選択を考えるうえで自分がひとつのモデルになれれば嬉しい」と言っています。彼と力を合わせ、完全にITによるバリアフリー・メタバース大学を作りたいと考えています。

### ICUとのつながり

斉藤:ICUと新大学の接点で言えば、何をおいてもリベラルアーツです。バリアフリー教養大学のキャッチフレーズは「リベラルアーツをすべての人に!」ですが、ICUに長くいたのでリベラルアーツは自分と不可分になっています。でもICUに入れる学生は、やはり恵まれた環境にある人が多い。なので、排除されている人にも何としてもリベラルアーツを、という思いが強くあります。

「どうして障害のある方々に4年制の リベラルアーツ大学が必要なんですか、 専門学校じゃなくて」と言う人がいま す。「見えないなら、はり・きゅう・ あんまがいいのでは?」といった悪意 のないステレオタイプな発言に、障害 のある学生はいつでも傷ついています。

### リベラルアーツの意義

斉藤: そのように差別されている人は、不利益があるからこそ、何かひとつに決めてしまってその専門性を高めただけでは生きていくのに不利なんです。障害者が「自分はこれになりたい」と思ってなれる社会ではないですから。チャンスが巡ってきたときにすぐに勉強し始めたり、資格を取ったり、

チャレンジできるようになるためには、 クリティカルシンキングとか基礎的な 学ぶ力をつけることの方が絶対大事で、 リベラルアーツこそが力を発揮します。

職業選択に限った話ではありません。 学びが就職に直接つながらなくとも、 仮に卒業前に尽きる命であっても、生 きている限り真理を探求したいという 知的欲求にリベラルアーツは応えます。

リベラルアーツの学問的な発展にとっても、障害を持つ人との関わりは意義があります。複数の学問領域にまたがる学際的研究はリベラルアーツにとって重要ですが、手話の言語学と脳科学がつながっていたり、ろう文化や盲文化が文化人類学の一部を形成したりなど、障害学はまさに学際です。リベラルアーツが障害学を重視しないのは、とてももったいないことです。

障害に限りません。アメリカにはネイティブアメリカン研究の学部があったりしますが、日本でマイノリティに特化した学部はありませんから、障害学を含め、マイノリティスタディをコアにしたリベラルアーツ学部をぜひとも作りたいと思っています。

そのような流れができてくると、社会全体の考え方が変わっていくはずです。マイノリティについての研究をしている大学の先生がいる、そしてその人は障害当事者であるというのが自然に目に入ってくると、「障害のある人たちに大学は無理」という固定観念がいつの間にか消えていくと思うわけです。

いまは障害のある大学の先生が圧倒 的に少ない。差別をなくすのにいちば んいいのは、先生が障害者であること です。教わることほど、障害者を尊敬 するきっかけになることはないですか ら。知らないことをたくさん授業で教 わり「先生はすごい」と思う。試験さ れたり指導されたりしているうちに、 本当に障害者を同等に見るようになる。 障害者で先生という立場の人と接触す るのがとても大事で、それが障害者差 別をなくす近道ではないでしょうか。

### 大学開設に向けて

斉藤:ファカルティメンバーやカリキ

ュラム、通信システムなどは概ね準備できたので、あとはとにかく資金集めです。いまの規則だと大きな大学も小さな大学も同じだけの財源が必要で、いくら「最初から障害者が学ぶ設計にしてあるのでお金はかからない、きちんと運営できる」という計画書を出しても、なかなか認可されない現実があります。

財源確保のため当事者の方や関係者が私財を投じていて、私も退職金は全部、親から譲り受け事務所として使っているこのマンションも準備委員会に譲渡しましたが、必要な額には全然足りていません。ですので、いろいろな場所に出向いては寄付をお願いしているところです。

賛同してくださる方の、思いのある 寄付は、少額であってもたいへん嬉し いです。ホームページ上でも寄付を募 っていますが、今後はYouTubeなど のSNSを使って広めていくことも検 討しています。

### 同窓生へのメッセージ

斉藤:何かの集団、自分がいる集団があったら、その中で不条理に不利益を受けている人はいないかということを、いつでも気にする人間になってもらいたいと思います。あるいはまたこの輪の中に入ることができていない人がいるんじゃないか、視界に入っていならが享受しているんじゃないから排除されている人がいるんじゃないかということを、ICUならではの想像力を働かせて、いつも考えられるようICUで学んだ人の使命ではないかと思います。

注1) COIL (Collaborative Online Internatio -nal Learning): オンラインでつながれた別々の国の学生たちが協働してプロジェクトに取り組む、国際的な双方向の教育手法。ICUも東京外語大と連携して実施し、文科省より高い評価を得た。

注2) 異能 $\beta$ :総務省が2014  $\sim$  2023年度の10年間にわたり行った、奇想天外で野心的な技術課題に失敗を恐れずに挑戦する人を支援する「異能vation」プログラムにおいて、破壊的な挑戦へのチャレンジャーと認定された人。

### \*明日への大学<sup>\*</sup> 続編

ICUにおける一盲学生の 物理実験・化学実験履修の記録

1986



### ICU出身の教員予定者

バリアフリー教養大学には多くのICU関係者が名を連ねている。 そこにはリベラルアーツの精神とマイノリティ当事者性が半々の、ハイブリッドの大学にしたいという強い思いがある。



苫米地憲昭

### TOMABECHI, Noriaki

専門は臨床心理学。新大学では発達心理学、臨床心理学概論、 人間関係論を担当。ICUでは長きにわたりカウンセリングセ ンター長を務め、多くの学生の相談に当たってきた。①自己 を尊重すること、②観察すること、③自分の頭で考えること、 ④興味・関心をもつこと、を念頭に、学生一人ひとりの個と 主体性を大切にした指導を行う。



大西直樹 (16 ID72, G1977) ONISHI, Naoki

専門はアメリカ文学、アメリカ研究。ICUと米アーマスト大 学の2つのリベラルアーツ大学の学部教育を体験したことか ら、学際的、比較文化的なアプローチで作家研究を行う。当 校においては研究者養成とは違ったやり方で、複眼的な視点 を育み、豊かで深い社会と人生のあり方を考える契機を提供 できる授業を展開する。



尾崎(渡邉)久美子 (26 ID82, G1984)

### OSAKI-WATANABE, Kumiko

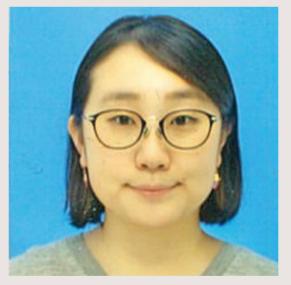
専門は日本語学・日欧思想交渉史。グローバルな視野と相対 的に物事を捉え発信していく力を得られるよう、リベラルア ーツ教育の基本となる、大学レベルの授業で活用できるコメ ントシートやレポート・論文の書き方、発表の仕方などを教 える。また日本語を母語としない学生などに、その語学レベ ルに応じた日本語の文法や表現、正書法を指導する。



斉藤みか (52 ID08, G2018)

SAITO, Mika

在学中にろう・難聴の中高生の学習支援をするNPOを立ち 上げ、理事長を務める。新大学ではアカデミックライティン グ、クリティカルシンキングの授業を担当。書くことが得意 な学生にも、障害などにより困難を感じる学生にも、それぞ れに合ったやり方で書く力を伸ばすサポートをしていく。日 自分がいる社会を改めて考えるきっかけとなるような授業を アセンター」開設。当事者としてマイノリティに関わる授業 本古典文学の受容と継承に着目した文学の授業も担当。



郷戸夏子 (54 ID10, G2020) GODO, Natsuko

近現代日本における宗教や日米関係の歴史の授業、江戸時代 以降の日本の歴史をアジアや欧米との関わりから考える世界 史の授業を担当。日本史と世界史を対比させたり、過去から 行う。



藥師実芳

### YAKUSHI, Mika

ICU高校出身(早稲田大学大学院卒)。トランスジェンダー とADHDのダブルマイノリティ。高校時代にカミングアウ トしたとき友人が受容してくれて救われた経験を持つ。 2015年「人間力大賞」受賞、2022年、精神障害や発達障害 現在を照らしたりすることで、異なる視点を獲得し、現在のがあるLGBTQらの就職を支援する「ダイバーシティキャリ を担当。

上記の基幹教員・特任教授のほか、根本敬 (24 ID80, G1985「グローバルヒストリー」担当)、大西穰 (47 ID03「西洋音楽史」担当) の両氏らも 講師陣に名を連ねる。また、ここに紹介した以外にも数多くのICU出身者が、開校に向け惜しみない協力をしている。

### 寄付のお願い

バリアフリー教養大学では寄付を募集中です。趣旨・理念にご賛同いただける方はぜひご協力をお願いします。 QRコードを読み込んでいただくと寄付受付のページに移行します。



### ICUのバリアフリー

バリアフリー教養大学の源流のひとつであるとも言えるICUでは1953年の開学以来、世界人権宣言の精神を重んじ、早くからさまざまなバリアフリーに関する 施策を行ってきた。過去から現在までの主な事例や取り組みについて、ICUパブリックリレーションズ・オフィスの吉良綾乃さん(51 ID07)の協力のもと、年表 にまとめた。

### ICUバリアフリー年表

カウンセリングセンター創設 1963 1973 身体障害者の入学に関する基本方針策定 初めての盲学生受け入れ 1977 『明日への大学 その一つの歩み:ICII における一盲学生の在学の記録』 (1981年) ICU 点訳サークルがジョン・ミルトン盲人協会の国際賞を受賞 1981 盲学生受け入れの方針決定 1983 ・明日への大学⁵₽₩ ICUにおける一盲学生の 物理実験・化学実験履修の記録 理学科初の盲学生入学 「明日への大学 続編:ICUにおける一 盲学生の物理実験・化学実験履修」 (1986年) 人権侵害防止対策基本方針策定 1998 379,1 A5391 第1回「人権セミナー」 開講 図書館の元タイプ室に音声読み上げソフトを入れたPC、点字プリンタ、 1999 スキャナを設置 PCなどを現在の場所(図書館本館) に移設し、特別学習支援室を設置 2002 ジェンダー研究センターを設立 2004 (\*) 卒業研究などで必要な大量の紙媒体の資料をスキャンし、OCRソフトを使ってテキストデータ化する対価 支払い型のプロジェクトで、前年に視覚障害の学生から提案がありスタート。2008年にはこのプロジェクトの 仕組みを活用して「学生サポーター」制度を整備(現在は「スキャンプロジェクト」の活動は行っておらず、派遣・ 非常勤スタッフがメインの「テキストデータ化チーム (ReadingAccessibility Services)」で対応) スキャンプロジェクト開始(\*) 2005 2007 障がい学生支援に関する基本方針制定(2016年改訂) 特別学習支援室に非常勤副手2人を配置 非常勤職員を配置し、正式に特別学習(のちに学修)支援室を開始 2008 2015 学修・教育センター開設(特別学修支援室を傘下に置く) 2016 点字ブロックを本館前、バス停の一部に設置 2017 湯浅八郎記念館にエレベーターを設置 ムスリム祈禱室を本館の静穏な場所に設置 本館にオールジェンダートイレを導入 2020 



出入り口を2つ設置した回遊型の設計、音漏れ・のぞき込みを防止した構造、人との鉢合わせ 機会を軽減する工夫など、プライバシーや安全性には配慮の限りを尽くしている

ディッフェンドルファー記念館東棟をバリアフリー化 2021



ディッフェンドルファー記念館東棟の エレベーター

2023 大学内の主要な建物間に点字ブロックを拡大設置

特別学修支援室が学修アクセシビリティ支援室に 2024

日本語でも英語でもカウンセリングを受けることが可能。大学カウンセ ラーは教授会にも陪席できる重要なポジション

ICU初の盲学生として草山こずえさん(25 ID81)が入学する際には、 田坂興亜先生、吉野輝雄先生、Donald Worth先生、古屋安雄先生、丹 羽芳雄先生らがメンバーとなって受け入れのためのプロジェクトチーム を結成。方針として、学生の自立と独立を尊重するため、大学からの援 助は必要最小限とした

点訳サークルは 1977 年の 受け入れと同時に結成

卒業後渡米、帰国後はJAXAなどで活躍し、現在はNPO日本ブライン ドマラソン協会の常務理事も務める八木陽平さん(31 ID87) は、全盲 の学生として日本で初めて物理を専攻

セクシュアルハラスメントおよび人権侵害防止コードができる。人権委 員会や人権相談員制度を設け、人権に関わる啓発活動や相談活動を実施

毎年、人権委員会と人権相談員連絡会が世界人権デー(12月10日)の前 後に開講。2024年度で第27回目

筋ジストロフィーの学生用にも名誉教授ラウンジの一部 (現在の学修ア クセシビリティ支援室)を開放

共学の大学で、また学際的に人権とのつながりを意識して学ぶことがで きるのもICUの特長。2005年度にはジェンダー・セクシュアリティ研 究プログラムを4つ目の学際プログラムとして開始

前年に視覚障害の学生から提案がありスタート。2008年にはこのプロ ジェクトの仕組みを活用して「学生サポーター」制度を整備

当初は週1日。2013年から常勤職員を配置し週5日開室に





学修・教育センター

本館前の点字ブロック

世界人権宣言の精神に基づき「どんな背景の人にも不利益を与えない」 「誰もが快適なキャンパス」を目指し、望まぬカミングアウトにならな いよう全学生が利用する本館の中央付近の各フロアに設置、男女別トイ レとの選択が可能に。エレベーターから車いすでのアクセスも容易にな った。その後、近畿大学(2022年)、東京大学(同)、日本女子大学(2023 年)などがオールジェンダートイレを導入

次いで、トロイヤー記念アーツ・サイエンス館(2022年竣工)、理学館 (2024年竣工)をバリアフリー対応に。

なお、以前より礼拝堂にも車いすを配置している



理学館の自動扉



### 湯浅ICU初代学長との出会い

三宅一男さんは1941年、東京都足立区に生まれた。中学・高校はミッションスクールの聖学院に進学。そこで、その後のICU学生会長へと連なる、運命的な経験をする。「当時は『ハイスクールYMCA』に所属していて、全国の委員長も務めました。そこで、初代学長の湯浅八郎先生と面会する機会がありました」。ハイスクールYMCAの恩師が学校法人同志社総長当時の湯浅先生の教え子で、その縁で高校2年次のとき、京都の先生の自宅で面会の機会を得たという。

「そこで『ぜひ大学はICUにいらっしゃい』とお声がけいただいて。もともとは早稲田大へ行きたいとも思っていたのですが、その言葉がモチベーションになりました」

当時のICUにはミッションスクールからの推薦制度があり、聖学院の学校長推薦を受けて、三宅さんはICUへの進学を決めた。

### 1年生で学生会長に選出

しかし、当時は「60年安保」のまっただ中だった。「私が大学に入ったとたん、安保のデモが始まったわけです。ICUには『リベルテ』という『社研(社会科学研究会)』のようなクラブがあって、聖学院からの1・2期生がメンバーだった。そんな流れで安保の年にICUに入り、リベルテにも顔を出すようになったのです」。先輩に連れられて国会前でのデモや座り込みに参加をしたこともあり、三宅さんの社会運動

への意識も高まっていったという。

そんな三宅さんがICUの学生会長に 選ばれたのは、なんと1年生の時だっ たという。「本来学生会の会長は2年 生のときに選挙があって、3年生の春 に就任するのが普通の任期でした。と ころが、どういうわけか当時2学年上 の先輩が『8期から委員長を出したい』 と言い出し、1年生ながら選挙にのぞ んで当選、2年生の春から会長を務め るようになりました」。

そのような経緯で三宅さんが参加するようになったのが、前述の「SFC」だった。SFCは学生の代表としての学生会の中心メンバーと、教授側の代表が一堂に介し、「こういう講座を開いてほしい」といった話をはじめ、大学にまつわるさまざまな問題を話し合う場として定期的に開催されていた。

参加者は、学生側は学生会の「キャビネット」の4、5人くらい。教授側も財務担当副学長、学生部長など、同じく4、5人くらいがメンバーでした。後に大きな問題を話し合う「拡大SFC」も設けられ、もう少し人数が増えたという。

三宅さんが学生会長になって最初に出てきた大きな問題が、学費の値上げだった。「大学から値上げの提案をSFCで提示された。学生会としてどう対応するべきか。最初に向き合った課題でした」。今では私立大の中では学費が上位の方に属するICUだが、当時は国公立大学よりも安かった。「学費が上がることで、裕福ではない学生たちへICUの門を閉ざすことになる」。それが学生側の大きな反対理由だった。

また、三宅さんの記憶では、学費の 値上げは在学生にも適応される提案だったといい、「入学時の約束と金額が 変わってしまうのはおかしい」と議論 は紛糾。最終的には値上げが実現して しまうことになるが、一部学生の本館 占拠やハンガーストライキにもつなが る大きな問題になっていったという。

このほかにも、食堂の値上げについての議論や、生協を学内に設置すべきだといった議論など、さまざまな問題についてSFCで学生側と大学側が真剣に意見を交わしたという。

### 学生会長を辞した、その理由

のべ2期学生会長を務めた三宅さんだが、実は1度は辞任をしたことがあったという。1年生で会長へ立候補し、2年生で就任。その2年の秋の途中に、「実力行使をすべきだ」という意見と、話し合いを重視すべきと主張してきた三宅さんの意見が対立し、会長職を辞する決断に至ったという。

「でも、結果として振り返ると、状況としては、話し合いだけでは解決しない場合もあり、それなりの実力行使が必要な場面もあるんだと、私自身が考えを改めた」。そして、再び会長へ推薦され、再任されたのだという。

そして、そのタイミングで2度目の 学費値上げの提案を大学側から受けた。 時を同じくして、当時の鵜飼信成学 長が、イデオロギー色の強い「反共同 盟」の発起人として名を連ねたという 話が報じられ、そのことへの反発が学 生間で広がり、その代表として三宅さ んは先頭に立っていくことになる。公

開の質問状を作成し、鵜飼学長に提 出したという。三宅さんはこれは今日 の統一教会問題と震源を一にすると今 でも推測しているという。学費値上げ の問題も加熱していった。2回目の提 案は値上げ案と同時に理事会で決定予 定日を含めた提案であった。「これは 提案なのか、事実上の決定通知なのか。 もし後者なら、これでは『話し合い』 をしていることにならない」。話し合 いといいながら、実際には話し合いの 体をなしていないと学生たちは強く反 発し、本館占拠やハンガーストライキ が実施されていくことになった。これ はその後の学生と大学の間の不信感を 大きく醸成することになり、SFCへ の信頼感を殺いでいった。値上げ反対 運動は在学生には適用しないという条 件付きで事実上敗北し終結する。しか しその後の学生と大学の間の波乱を予 想させるものとなった。

### 卒業後、消滅した学生会と SFC

「私が当事者としてかかわったのは、 そこまでです」と三宅さん。資料によ ると、三宅さんの卒業後も2、3年ほ どは学生会が存在し、会長が選ばれ、 会長がいる限りSFCは開かれてきた が、ある年に立候補者があらわれず、 学生会は自動消滅。SFCも、その流 れで消滅してしまった。

卒業後の話で三宅さんも詳細はわからない、というが、資料によると、60年代半ば以降は教授会が能力開発研究所の適性検査(能研テスト)を入試の一部に採用することを決定したこ

となどで学生と大学間の対立が激化。 学生たちは本館を占拠し、大学側は対 抗措置として学内へ機動隊を導入。除 籍となる学生も続出し、鵜飼学長もこ の流れの中で辞任した。建学以降、主 にSFCを舞台に重視されてきた「話し 合い」を大切にしようという伝統は、 激動の時代のなかでどんどん薄れてい った。

三宅さんに、当時のことを改めて振 り返ってもらった。「私は『本館占拠』 も進めた立場ですが少なくとも、学費 の問題などは大学側が問答無用で決め るものではないと、あまりにも強権的 ではないか、という思いがありました。 そうじゃなくて、授業料のあるべき姿 についてきちっとした話し合いが継続 出来る場として、SFCが存続した方 がいいと、退任するまで思っていまし たし、今でもそう考えています」

また、「自分の卒業後のことはわか らない」と留意しつつ、日本の政治状 況やイデオロギーというより、学生た ちに関わる問題が主な議論の争点だっ た点で、当時の他大学の学生運動とは 一線を画していたとも振り返る。

そして、こうも続ける。「やはり、 学生の意見を集約するものとしての学 生会は存在した方がいいし、ICUがそ れなしに今日まで来ていることは、望 ましい姿だとは思っていません。ただ、 私がSFCの中で学生会長をやってい たときずっと思って来たのは、学校側 に『行政権はこちらにあるんだ』と対 峙されると、話し合いにならないとい うことです」

「そのためには、大学と学生側がと もに依拠出来る理念、双方が共に寄っ て立つベースの共有が不可欠だという ことです。それは結局、ことの進め方 の問題ではなく、ICUの建学の理念に 照らしてどうあるべきなのかという基 軸を共有することだと思います。世界 人権宣言にサインを求めるという、共 通の土台がICUに関わる全ての者には ある。ICUを支える根本の理念に照ら してどうなのか。例えばウクライナ戦 争侵攻1年目、ICUは学長声明を出し ました。大学人としての初の表明で あり、その勇気と見識には大変感銘を 受けました。ただ一点、世界人権宣言 の『主権よりは人権』という基本理念 からすれば『戦うか否かは一人ひとり の人間の尊厳に帰する」という観点に 触れて欲しかったと私は考えています。 要はそういう話し合い、議論ができる 基盤が不可欠であり、あるべき姿だと、 今でも思っています」

### 当時の経験、三宅さんの土台に

SFCや学生会での経験は、その後 の三宅さんの人生にも大きな影響を及 ぼしたという。1964年に卒業し、商 社の企画課長を経て、段ボール製造会 社の代表に就任。そこで、当時中小企 業の経営者たちを苦しめてきた「個人 保証問題」をなんとかすべく、運動を 展開していく。これはまさに、ICU在 学中に大学をよりよくしようと活動し てきた経験が下地にあることだった。 「当時は年間2、3万人の経営者が保証 被害で亡くなっていた。私たち中小企 業のオーナーは、連帯保証の判子を押 させられ、命を担保に取られ、ついに は自殺や夜逃げに至るなど、悲惨な状 況が続いていた。また旧民法はそれを 許容していた」

こうした状況を打開するため、97 年に金融アセスメント法制定運動で 100万人の署名と1000の地方議会意 見採択に取り組み、2000年、中小企 業憲章制定を提唱して全国的な運動を 展開。そして10年に中小企業憲章が 閣議決定され、同年、120年振りの民 法改正、個人保証廃止と経営者保証の 制限を日本弁護士連合会と共に推進。 13年、「経営者保証に関するガイドラ イン」によって経営者の個人保証を伴 わないスキームを実現することになる。 17年には、同問題に関わる民法改正 も国会を通過した。そして現在の個人 保証、経営者保証の原則禁止に至る。

### ICUの理念、検証すべき

現在は会社は一線を退いたものの、 中小企業家同友会の全国協議会副会長 として、立場の弱い中小企業家たちの ための活動を続けている。

「こういった運動にコミットしてき たが、ICUでの経験は、問題意識を開 かれ、変えるべきだと思うことには挑 戦していこうと思える大きな動機付け になりました」

2014年、三宅さんは「卒業50周年 記念式典」で8期生代表として挨拶し た。そのなかで三宅さんは、自身の過 去を振り返ったうえで、ICUの今後に ついて述べた。SFCが象徴した「ダイ アローグ」の文化と、その背後にある 献学の精神を今後も忘れてはならない。 そう訴える三宅さんの挨拶の全文を掲 載し、文の結びとさせていただきたい。



ただいまご紹介にあずかりました8 期の三宅と申します。

本日は卒業50周年記念式典にお招 き頂き、更に記念品までご用意頂き厚 く御礼申し上げます。かつて鵜飼学長 の排斥運動などを引き起こした私が記 念品を頂くなど誠に忸怩たるものがあ りますが、本日はここに参集した8期 の友人に代わってありがたく頂戴いた します。

さて、ICUを卒業して50年、率直 に申し上げて念頭を離れないひとつの 疑念があります。

大昔、私がまだ高校生の頃、湯浅 八郎先生にお会いしたことがありま す。確か京都鴨川のご自宅であったと 記憶しています。お話の詳細は失念い たしましたが、先生のICUに託す熱い 想いと「ぜひICUに来たまえ」という 言葉は鮮明に覚えております。入学後 は長〔武田〕清子先生のアドバイジー となり、ICU創立に纏わる話を何度も 伺いました。両先生に象徴されるICU 建学に関わった多くの方々を仮に「原 始ICUの人々」と呼ばせて頂くならば、 その方々の背後には数千万の死者をだ したあの戦争体験があったことは疑い ようがありません。「平和を希求する 祈り」こそICU献学の理念の原点であ ったと信じます。

戦後70年のなかでICUはその託さ れたミッションをよく果たしたのか。 これが私の疑念であります。優れたガ バナーを得れば来たるべき50年の財 務基盤の構築は可能でしょう。優れた 教育システムと高い学問的水準の維持 も期待できます。しかし日本にミッシ ョンスクールができて150年になりま すが、「原始ICUの人々」は決しても うひとつのミッションスクールを創ろ うとしたのではないと思います。国際 主義、キリスト教主義という理念を掲 げ「平和な世界は可能か」という課題 に挑戦したのだと思います。いま問 われるべきはICUの掲げる理念が次の 50年100年に耐えうるか、であります。 「原始ICUの人々」を改めて想い起し、 次の時代にICUの果たすべきミッショ ンとは何かに想いを馳せることこそ、 本日の式典の真の意義だろうと考えま

多分次の100年式典には参列しえな い8期生としては、戦後70年の歩みの なかでICUの理念が何を成したかの検 証をし、未来に向けて何を発信すべき かを構想する委員会(コミティ)の立 ち上げをご提案して感謝の言葉に代え させていただきます。本日は本当にあ りがとうございました。

### 私たちは、「はたらくをよくする®」会社です。



### **PEACEMIND**

ピースマインド株式会社

ピースマインドは「はたらく人が抱える『不』を解決し、 心豊かな未来を創る」をミッションに「はたらくをよくする」 ソリューションを提供している企業です。

職場のメンタルヘルス・健康経営の推進、ハラスメント 対策等の人と組織に関する課題をお持ちの経営者、 人事の皆様からのご相談をお受けしています。

国内外のグローバル企業の成長支援を一緒にチャレンジ してくれる仲間も募集しています。

荻原 英人 (ID00)

WHY

**PEACEMIND** 

代表取締役社長

共同創業者

サービス開始から ₹26€

1400 社/年

外資系顧客構成比

35 %



休職・復職者支援

**Working Better Together®** 



「はたらくをよくする」 職場づくりをサポー トノ専門家監修の お役立ち記事です。 ぜひご覧ください。

エンプロイイーサクセス部 人事総務グループ長 小島 真理 (ID87)

EAP 従業員支援プログラム

クライシス支援

産業保健支援サービス

ストレスチェック

健康経営支援 ウェルネスプログラム



ホームページ▶



ハラスメント対策支援











同窓会グッズテン



### 2024年ICU祭 散策記

### 同窓会はアラムナイカフェと同窓会グッズ委託販売で参加

文:楢木りら(本誌) 写真:湯浅八郎記念館、ICU祭実行委員会、同窓会事務局

2024年10月13日 ~ 14日、ICU祭が行われた。今年のテーマは、「SUN SUN /燦々」。ICU祭実行員会によると、ICU生のみならず来場者の方とともに、色鮮やかに自分らしさを発揮できる空間を味わっていただきたい、という意図を込めたという。

プログラムは、ICU祭実行委員会に よる公式企画として、地域交流企画、 子ども企画、アカデミック企画、キリ スト教企画、ゲームや自然ツアーなど が実施された。また、本館前のあほ山 や礼拝堂前ロータリー、D館オーディ トリアムや新D館オープンスペースを 使ったステージ企画、N館(理学館) やT館(トロイヤー記念アーツ・サイ エンス館)での展示や講演、そして、 バスロータリーから本館前まで連なる 70軒以上の屋台など、部活動、寮、 セクション、有志の集まりなどさまざ まな団体による企画があった。爽やか な秋晴れの下で、学生のエネルギーと 来場者の笑顔があふれる2日間だった。

本館が改修中だったため、例年本館

で行われる屋内の企画はN館を中心に

展開された。N館の場所が集客に影響

しないかと少し気になったが、そんな

り合って上り下りするほどの賑わいだった。N館の吹き抜けで行われていた31のメジャーを紹介するメジャー展示にも多くの方が足をとめていた。13日には、特別なプログラムのひ

心配は無用で、各階をつなぐ階段を譲

13日には、特別なプログラムのひ とつ、泰山荘ツアーに参加することが できた。泰山荘は、現存する6つの建 物、「高風居(一畳敷を含む)」「書院」 「待合」「蔵」「車庫」「表門」がすべて 国の登録有形文化財になっている。通 常は非公開で立入りができないが、 ICU祭期間中は東京文化財ウィークの 一環として特別公開されていて、当日 配布の整理券を受け取りツアーに参加 して学生スタッフの案内で6つの建物 を順に見学することができた。特に 「高風居」に差し掛けられている「一 畳敷」は、北海道の名付け親としても 知られる江戸末期の探検家、松浦武四 郎により140年近くも前に建てられた もので、日本各地の古寺名刹由来の古 材を使用している。泰山荘は、大学博 物館湯浅八郎記念館と泰山荘プロジェ クトという学生団体が中心となって保 存や周知の活動が行われているという。 地震や台風、小動物による被害なども

あるようで、屋外にある貴重な文化財 を守っていくことの大変さも改めて実 感したツアーだった。

屋外テントは、ICU生御用達のお店が出店する「ごようたし横丁」とさまざまな団体が出展する屋台で大にぎわい。お目当てをみつけるのも大変な中、筆者が所属していた硬式テニス部のたこ焼き屋に立ち寄り、現在の部活動の様子などを立ち話。あたりを走り回る子どもたちの姿も多く、お祭り気分が盛り上がるわくわく空間だった。

同窓会では、緑に囲まれたアラムナイハウス2階ラウンジでアラムナイカフェを開催。ICU祭の賑わいの中で落ち着いた雰囲気でひと休みできる場所として、また、同窓生が気軽に立ち寄れる場所として、来場者は2日間で200人を超えた。昨年同様、今年も、同窓生によるBGM生演奏を募集して、ウクレレ弾き語り、ピアノと歌、ピアノ弾き語り、ピアノと歌、ピアノ弾き語り、ピアノと歌、ピアノ弾き語り、ピアノと歌、コ楽器演奏、ジャズトリオ、6組の参加が互いにMMS出身とわかり、飛入り即興のデュオ演奏になったり、珍しい談等

たり、終始あたたかな雰囲気だった。

同窓会グッズは、ICU祭実行委員会 のグッズテントで学生が販売を担った。 今年は、同窓会ロゴ入りのポロシャツ、 ミニトートバッグ、エコバッグ、てぬ ぐいなど、ICU祭から販売を開始した 新商品が人気を集めていた。販売を担 当した学生から「販売を通じて、同窓 生のみなさんが大学に深い愛着を持っ ていらっしゃることを実感した。 ま た、一般の来場者の方が大学や在学生 に対してどのような印象を持っていら っしゃるのかを直接お聞きできたこと も新たな視点を得る良い機会だった」 という感想があった。ICU祭での学生 による同窓会グッズの販売は、多くの 方に同窓会グッズを手にとっていただ く絶好の場であるだけでなく、販売を 担当した学生にも日常とは違う気づき を得てもらえる場となっていた。

ICU祭のキャンパスを訪れて、一味 違ったICUでの時間を楽しむことがで きた。来年もまた趣向をこらして楽し い祭りを繰り広げてくれることを期待 したい。

### ヴォーリズ、 レーモンド設計の 教員住宅を救え!

大学の構内に点在する教員住宅。 オープンハウスやお茶会でいずれかに入ったことがある方も多いのでは。 その教員住宅、一部がICUの自然に飲み込まれかけている。 空き家になり、周囲の雑木や竹林が繁茂しているためだ。 2024年10月から12月にかけて、こうした教員住宅の保存活用について、 4回のワークショップが開かれた。その様子を紹介する。

文・写真:新村敏雄(本誌)、大和田卓(集合写真)

教員住宅の研究に取り組んできたのは、2018年11月に発足したICU教員住宅研究会で、今回の連続ワークショップを企画・運営したのも同研究会だ。研究結果についてこれまで2回開催されたシンポジウムの第1回の内容は本誌 2021年9月号(vol. 135)で紹介され、またその後の会の活動についても本誌 2024年3月号(vol. 140)「ICU教職員住宅の研究と、その存在意義」で取り上げた。

今回の連続ワークショップは「ICU 教員住宅と周辺環境を未来へとつなぐ ワークショップ」と題されている。築 70年近いこれらの住宅の一部は入居 者がいなくなったため、周囲の自然と ともに老朽化が進んでおり、どのよう な保存活用の可能性があるのか考える きっかけにしようとの狙いだ。

筆者は第2回以降に参加した。第2 回では3棟の住宅の中に入らせてもら い、すみずみまで見学した。間取りは 西洋建築なのに、間仕切りや引き戸に ふすまが使われていたり、畳敷の女中 部屋があったりと、思いがけないデザ インがあった。ただ、人が住まなく なると住宅はどうしても傷む。動物が 入ることもあるという。汚れてしまっ た壁や床、がらんとした寝室やキッチ ンなどを見ていくと、少し悲しい気持 ちになった。そのなかで泰山荘に近く、 かつて「学長公邸」と呼ばれていたと いうno. 365住宅は、床面積がほかの 2棟より広くて外観も内装も保存状態 は良かった。広々したリビングの窓は 一部が風景を切り取るような「ピクチ ャーウィンドウ」となっていて、竣工 当時はその窓の中におさまった富士山 が今よりよく見えたはずとのお話に想 像が膨らんだ。

第3、4回はかつて鈴木寛名誉教授がお住まいだった住宅(no. 482)の 敷地の手入れに取り組んだ。第3回で



「学長公邸」と呼ばれていたno.365住宅(1955年竣工)



昔はこの窓から富士山の姿が臨めた



住宅の設計図の説明を聞く

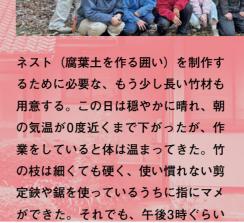
は、まず体育館のセミナールームで東京農業大学元教授の濱野周泰先生からガイダンスを受けた後、「現場」へ移動した。

住宅の前庭は一部竹が刈られてはいたものの、それを上回るように鬱蒼とした「竹林」に囲まれ、実生から伸びた3メートルはあろうかというシュロ、植えられてから間伐していないような針葉樹群、そこに絡みついたフジなどが繁茂し、南向きなのに薄暗く感じられるほどだった。



ワークショップ前の荒れた前庭

東京農業大学教授の粟野隆先生、同 大助教の中島宏昭先生、造園家の細野 達哉先生の指揮のもと、作業が始ま った。40人あまりの参加者は、ICU、 農大、理科大の学生や筆者のような卒 業生、ICU高校の保護者、そして地元 三鷹市の居住者も含まれた。鳥が運ん だ種から伸びてきた低木を刈り、風で 落ちた大小の枯枝なども拾い集めて作 業ができるスペースを作っていく。そ の間に次々と切り出される竹は枝を払 って3人がかりでいったん敷地の外に 移動させ、翌日の第4回で制作する垣 根の材料とすべく、長さを揃えて切っ ていく。並行して、竹林の中にバイオ



には建物の前はすっかりきれいになり、

作業前よりずっと明るくなった。

翌日の第4回は、幅2間(3.6メートル)の竹垣を2基立てるプラン。高さ1.2メートルの支柱を立てるために60センチの穴を掘る。垣根チーム、バイオネストの枠組み制作チーム、バイオネストの中に入れる材料を集めるチームに分かれての作業は途中で担当を入れ替え、順調に進んだ。垣根の縦部分で「立て子」と呼ばれる竹を横に使われる「いぼむすび」という結び方はなかなか難しかったが、なんとか格好がつき、午後3時すぎには無事予定したすべての作業が完了した。

筆者が参加できなかった第1回に出 席された鈴木名誉教授の妻である節子 さんは、以下のような感想を研究会に



切った竹などを利用し大きなバイオネストを作る



作業が終了しすっきり明るくなったno.482住宅 の前庭

寄せられた。「70年くらいで人々の記憶から事実も忘れ去られていくという忘却の早さにあらがい、記録していくというこのような活動は重要だと思いました」。また、ワークショップに参加したICUの学生や卒業生の間では、終了後、今後も教員住宅研究会の活動に関わり、また大学や地域などと連携を図りながら教員住宅の活用と保存の検討を進められるよう、「建築支部(仮)」という同窓会支部の発足を目指そう、という話がまとまった。支部メンバー絶賛募集中です。

### ワークショップの スケジュールと内容

第1回 | 2024年10月13日(日) | 「建築家になって考えよう! その1 レーモンド編」

レーモンド住宅の見学と案内。歴史 /現状の課題/住宅と庭の今後の可 能性の議論

第2回 | 2024年11月16日 (土) | 「建築家になって考えよう!

その2 ヴォーリズ編」

ヴォーリズ住宅の見学と案内。歴史 /現状の課題/泰山荘との関係性に ついて

第3回 | 2024年12月14日 (土) | 「庭師になって考えよう!

その1 伐採編」

レーモンド住宅の庭整備及び、枝葉・竹の伐採。庭の整備 第4回 12024年12月15日(日) 1

第4回 | 2024年12月15日 (日) | 「庭師になって考えよう!

その2 つくる編」

レーモンド住宅の庭整備及び、伐採 材を使ったモノづくり。庭の整備、 モノ・場づくり

主催 | ICU教員住宅研究会・住宅活用検討部会 | 大和田卓+伊藤裕久+岸佑+栢木まどか+栗野隆+濱野周泰+細野達哉 /協カ | ICU Nature Lovers (広報協力) +東京理科大学・栢木研究室+東京農業大学・栗野研究室+Biocultural Design Inc.





### ~ICU卒業生ならではのさまざまな生き方から学ぶ~

文:松本典子(45 ID01) 写真:同窓会学生部

2024年9月28日(土)、ICUキャン パス内の楓寮・樅寮1階ウィステリ ア・ホールにて、同窓会学生部主催・ 大学協賛によるイベント「未来予想 ZOO」が開催されましたので、その 様子をご報告致します。

「未来予想ZOO」は、在学生を対象 としたイベントで、卒業生ゲストとの セッションを通じて、就職活動とは異 なる切り口から、卒業生の生き方・考 え方の多様性を知ってもらい、大学で の過ごし方や卒業後の"生き方"につ いて考えるヒントを得てもらうことを 目的にしています。前回の2024年1 月開催の「未来予想ZOO」に引き続き、 コロナ禍明け2回目のリアルイベント 開催となりました。

当日は週末にもかかわらず、1年生 から4年生までの50人程の在学生が参 加してくれました。イベントに参加し た卒業生は、同窓会学生部のメンバ ーを含め26人。その他、大学関係者、 同窓会関係者の皆様にもご協力いただ きました。

卒業生ゲストの顔ぶれは、「ZOO」 というタイトルにふさわしく、会社員 から太神楽師、コンサルから起業、新 聞記者からIT系企業、子育てしながら

企業の執行役員、外資系企業から書家 などなど…学生時代のメジャーも様々 なら、現在の生き方も様々、現在に至 るまでの過程も様々で、ICU卒業生ら しい多様性に溢れていました。

卒業生には、事前に「学生時代に力 を入れたこと」「卒業後のキャリア」 「学生時代、悔いが残ること/うまく いかなかったなと思うこと/今の自分 ならどうする?」「学生時代、やって おくと良いこと・良かったこと・現役 の在学生に伝えたいメッセージ」とい ったアンケートに答えて頂きました。 当日はグループに分かれて、在学生か らの質問に答えてさらに突っ込んだ話 をしたり、ディスカッションをした 後、ウィステリア・ホールに全員が集 合して、思い思いに対話を深めました。 ICUという同じ場で学んだ者同士でな ければできない交流の場となったので はないかと思います。

どのグループでも、在学生は、卒業 生からヒントを得ようと積極的に質問 をしている様子が見られました。参加 した在学生からは、「いろんな経歴の 方がいたが、やってみるとなんとかな ると思うことができた」「やらない後 悔が一番後悔するというメッセージを 受け取った」「自分が考えていた以上 に色んな選択肢や考え方があって視野 が広がった気がする」などの声を聞く ことが出来ました。

また、卒業生たちも、在学生に対し て、自分の学生時代を振り返って真剣 に回答しようとしていました。その根 底には、「悩むことも含めて今しかで きないことをとことんやってほしい」 「ICUでの学生生活を悔いなくとこと ん楽しんでほしい」という熱い思いが 込められていたように思います。

今回の「未来予想ZOO」が、在学生 にとって、大学時代の過ごし方やその 後の「生き方」のヒントを得られる場 になっていると嬉しいです。

次回「未来予想ZOO」は、2025年 1月18日(土) に開催しました。今後 も、同窓会学生部では、在学生のニー ズを聴き取り、同じICUで過ごした卒 業生ならではの在学生へのサポートを 提供していきたいと考えています。



ICU教会結婚式サポート

ICU教会での結婚式のご予約・ご相談、学内施設の施設貸出、 ケータリング紹介などご用命ください

国際基督教大学事業会社

という気持ちでしたが、

古川さんとの面談の際に

直感で即決しました。

話を聞いてくださったので

安心していろんな話が

柔らかい雰囲気で

真摯に目を見て

### 株式会社ICUサービス

国際基督教大学内 D館西棟2階 0422-33-3530 (weekday 9:00-17:00) info@icu-service.com





学内イベント ケータリング紹介







RAPPORT

### 結婚相談所の安心安全な環境で

### 好きな人が隣で笑っている毎日を叶えませんか?

ICU卒業生同士のマッチングに力を入れるべく特別価格でご案内

性別・年齢 婚姻歷 不問

### ICU卒業生限定 特別プラン

初期費用 77,000円 → 22,000円!

海外居住の方 ₽OK

\*他に月会費 11,000円とご成婚料 (通常の半額) が必要です

●業界最大級の結婚相談所連盟に加盟しており、ご紹介できる登録会員数は約 87,000人 (初期費用 20万円程度の大手結婚相談所と同一のデータベースを使用します)

●東京都大田区を拠点に全国オンライン対応

### ご興味をお持ちの方は

- ■公式LINE にご登録
- ② 古川の自己紹介動画 をご視聴
- ③ 無料個別相談にお申し込みください

公式LINE







できました。 結婚相談所ラポート 代表 古川 美穂子

 元ICU生の会員
 ⋒ 入会時の声

まとまっていないことも

思わず話してしまいます。

前回の募集では、たくさんの方々からのご入会や

自分の中で

お問い合わせをいただき、誠にありがとうございました。 今後も、ICU卒業生同士のマッチングに力を入れていきます!



最初は<mark>話だけ聞いて</mark>みよう 優し<mark>い雰囲気が話</mark>しやすく、 私が本<mark>当に送りたい</mark>人生を 考えたうえで、親身になって 相談に乗ってくれます。

カウンセラーがお一人で、 同窓生なので、 この方ならいろんな話を 気兼ねなくできると思いました。

とにかく<mark>丁寧に対応し</mark>てくださいます。 結婚相<mark>談所なんて今</mark>まで考えたことも なかったですが、古川さんが丁寧に 対応くださったことと、 ICU卒業生というところにも 縁を感じたので入会を決めました。

婚活に<mark>おいておさえる</mark>べきところを きちんと伝えてくれると同時に、 (旧姓:山沢) 無理強いはせず、とても話しやすい 2002年卒業 空間を作ってくれます。



### **New Alumni Association**

### 2024-25年度 同窓会体制のご紹介

2024年4月、ICU同窓会は新体制となり、引き続き、廣岡敏行会長が率いることとなった。 同窓会活動を盛り上げていく会長と7人の副会長からメッセージを寄せていただいた。

写真:本人提供



同窓会会長 廣岡敏行 (HIROOKA, Toshiyuki / 31 ID87)

本年より2期目となりましたが、同窓会理事や評 議員を含む多くの同窓生のご協力により、同窓会が 同窓生同士、同窓生と学生や大学をつなぐ役割をよ り効果的に担えるよう、課題に取り組んでおります。 「明日の同窓会」の取り組みにおける皆様のご協力 に感謝いたしますと同時に、引き続きご支援ご協力 の程よろしくお願いします。



財務部担当副会長 滝本訓夫 (TAKIMOTO, Norio/32 ID88)

ICU 同窓会財務部は、基金および一般会計他の財源 を適切に管理し、収入の充実を図るとともに支出の 管理を行っております。この活動を通じて、会員同 士の親睦、大学の発展、そして国際的な文化の交流 を支えて参ります。また、湯浅・細木記念奨学金を 通じて、学生に対するサポートを行っております。



学生部担当副会長 松本典子 (MATSUMOTO, Noriko / 45 ID01)

同窓会学生部では、現役生のニーズに応えるべく、 学生の「今」と「明日」を結ぶ役割を目指していま す。コロナ禍を経て約4年ぶりに、より充実した 現役生向けリアルイベント「未来予想 ZOO」を復 活させることができました。また、オンラインイベ ント「ゆる~いキャリア相談会」通称「ゆるキャリ」 も引き続き実施していきます。



総務部担当副会長 吉澤洋

(YOSHIZAWA, Hiroshi/33 ID89, G1991)

総務部は、毎年3月の桜祭りと総会運営、定款管 理や事務局員の方々の人事労務管理など、各部が円 滑に運営を行うために必要な基盤の支援を担当して おります。また ICU 祭ではアラムナイカフェも開 催しております。同窓生の皆様の輪を広げる一助と なればと考えております。



組織部担当副会長 武藤小枝里 (MUTO, Saeri / 35 ID91, G1993)

組織部は約60の同総会支部の皆様と共に「3万人

の同窓生、つながる」をテーマに、ネットワークの 強化と新しい仲間のインクルージョン支援を担当し ています。海外・国内の地域支部、部・サークル・ 寮など学生時代からの交流を今も紡ぎ続ける支部、 趣味や関心により卒業後に出会った仲間が集うグ ループと様々です。



大学·募金部担当副会長 藤田直志

(FUJITA, Tadashi / 25 ID81)

大学・募金部の活動は同窓生との絆づくりを大学と の連携を図りながら推進しています。ホームカミン グやキャンパス自然環境保全のイベントの企画・実 施、グッズ制作・販売などを通じて、同窓生の心の どこかにいつも ICU を思い起こしていただければ と思います。こうした活動を通じて募金へのご案内 を推進してまいります。



DC部担当副会長 磯島 大

(ISOJIMA, Hiroshi / 34 ID90)

DC 部は同窓会に関わるコミュニケーションがス ムーズでタイムリーにできることを目指して活動し ています。同窓会がすべての会員にとってよりよい ものになるよう、デジタルでできること、アナログ の方がいいことも合わせて考えていきます。各部と 連携し、同窓生の皆さんと力を合わせ同窓会を盛り 上げていきたいと思います。



広報部担当副会長 長谷川由紀

(HASEGAWA, Yuki/32 ID88)

広報部は「同窓生、大学、学生間のコミュニケーショ ン基盤の構築と、同窓会活動のプロモーション」を 目的に他の部などとも協力しながら活動していま す。年2回発行の同窓会報「Alumni News」のほか、 メルマガ、サイト・SNS など様々な手段を通じて、 同窓会や同窓生、各種イベント、大学・学生の様子 などを伝えています。

あなたのご意思の実現に向けて、サポートいたします。

### 三井住友信託銀行の遺言信託

皆さまの財産に関するご意思を反映する遺言書作成のご相談や、遺言書の保管※・遺言の執行 などを一貫してお引き受けいたします。まずは財務コンサルタントまでご相談ください。

※自筆証書遺言を作成する場合、自筆証書遺言書保管制度を利用し、遺言書は法務局にて保管します。

【遺言信託(執行コース)手数料等について(消費税等込み)】(2024年11月1日現在)

《お申込時》基本手数料:330,000円 別途、公正証書作成費用、戸籍謄本などの取り寄せに関する費用等が必要になります。 〈遺言書保管中〉遺言書保管料:毎年6,600円 〈遺言執行時〉遺言執行報酬:当社所定の報酬を申し受けます(最低報酬額:1,100,000円)。 上記はお支払プランの一例です。他のお支払プランもあります。詳しくは、窓口までお問い合わせください。※契約締結後に、解約、公正証書 正本の保管辞退、遺言執行者への就任の辞退、遺言執行者の辞任等が生じた場合であっても、基本手数料はご返金いたしません。

◎国際基督教大学と当社は「遺贈による寄付制度」の提携をしています。

この制度により遺贈をされる場合は、遺言信託(執行コース)の基本手数料が5万円割引(税抜き)となります。ご相談の際にお申し出ください。

資料のご請求は以下までお問い合わせください。 ※資料請求以外の内容については、店舗や専門部署へお取次いたします。一

0120-977-641

受付時間

| 平日9:00~17:00(土・日・祝日および 12/31~1/3はご利用いただけません)

三井住友信託 遺言信託





母校に遺贈したい。



2025年4月から

文:長谷川由紀(本誌)

明日の同窓会プロジェクトの進捗状況については総会や評議員会などを通じて 同窓生に周知を図ってきた(2024年3月の桜祭り)

### 今後の方向性

### 事務機能の大学への委託により活動支援体制の強化

- ●同窓会活動全般に対する支援体制の強化
- ●大学との連携強化
- ●重複業務削減による効率化

### 教職員も包摂して、校友会化

●真のICU Familyの親睦と大学への支援強化

### 事務機能の大学への業務委託の骨子

- ●現在の業務は原則維持 ⇒ 会員サービスへの直接のインパクトはなし
- ●事務局長1人、フルタイムの嘱託職員2人、合計3人の大学職員を配置
- ●リスク管理上の観点から出納業務はさらに外部委託
- ●データベースの突合、同窓生向け情報発信業務の統合による業務効率化
- ●大学のリソースの積極的活用
- ●業務委託費:現在の事務局経費で支払っている人件費見合い700万円は変わらず、 出納業務外部委託100万円程度が追加となる
- ●初年度のみ、希望する現職事務局員を同窓会負担で雇用し、スムーズな移行を担保

同窓会の臨時総会が11月16日、オンラインで開かれ、同窓会の事務局機能を2025年4月に大学に移管することを賛成多数で決めた。これまで同窓会が雇用してきた事務局員は大学が職員として採用し、事務局業務を行うが、同窓会の各組織・活動は従来通りで、意思決定などに影響はない。

### 事務局の業務委託

事務局は現在、週3日勤務のパート職員5人が担当しているが、このうち3人は25年3月で契約の期限を迎える。業務委託により、4月以降は事務局長1人、フルタイムの嘱託職員2人の大学職員計3人の体制となる。25年度は、現在の職員が希望すれば、同窓会の負担で雇用し、円滑な業務移行を図る。

出納業務については、管理上のリスクなどを考慮し、更に外部に委託する。

業務委託費は、現状の人件費見合い 700万円に変更はないが、出納業務の 外部委託費として100万円程度が追加 となる見通し。

詳しい業務内容は、業務委託契約に 盛り込むが、新しい事務局は原則とし て現行の業務を行うため、会員向けの サービスなどに直接の影響はない。 一方で大学への業務を委託することで、大学と同窓会が所有する同窓生の情報などのデータベースの突き合わせ・整理や、同窓生向けの情報発信に関する業務を統合するなど、重複している業務も含めて両者が担ってきた従来の業務の効率化が期待されている。同窓会にとっては、大学のリソースの活用や教職員との連携強化にもつながる。

### 「明日の同窓会」プロジェクト

事務局業務の大学への委託は、将来に向けた同窓会のあり方を議論する中で決まった。献学70年を迎えたICU。同窓生は3万人を超えるが、同窓会は作業量の増加や収入(会費)の確保、認知度不足、ボランティアで活動する理事の負担、任意団体としての活動の限界やコンプライアンス上の問題など、多くの課題を抱えている。

持続可能で活発な活動を行っていく ためにはどうすればいいのか――。

22年に就任した同窓会の廣岡敏行会長の下、理事会は同窓会の将来を考える「明日の同窓会」プロジェクトをスタートさせた。①同窓生同士の親睦促進に加え、「同窓生と在校生」、「同窓生と教職員」をつなぐための活動の

維持・促進・拡充、②在学生、教職員、施設なども含めた広義の「大学」の発展に寄与する、の2点を目的の柱として議論を開始。タスクフォースを作って課題を洗い出して整理するとともに、大学が次の70年に向けて踏み出したタイミングで、同窓会として何を目指すのか、何ができるのか、他大学の事例なども参考にしながら検討を進めてきた。

海外在住者も含めてより多くの同窓生にも現状や取り組みを知ってもらい、考えてもらうため、議論の内容や進捗状況は、評議員会や総会などの場だけでなく、オンライン・アラムナイハウスやホームカミングなどを通じ、オンラインや対面で説明を行い、疑問などに答える機会を設けた。同窓生からは賛否を含めて様々な意見や疑問、要望が寄せられた。

同窓会内の議論と並行して大学側と も繰り返し協議を行い、同窓会や同窓 生に求める役割や大学との関係、より 効果的な活動や協力のあり方などにつ いて検討を進めてきた。

### 今後の方向性

臨時総会までの議論・検討の結果、

同窓会活動の支援体制強化や大学との 連携強化をはかるために事務局機能を 大学側に移管すること、そして幅広い ICU Familyの親睦と大学への支援強 化を目指すために教職員も含めた校友 会化を検討するという方向性が固まっ た。

校友会化については、会員資格の定義や会費の問題、理事会・評議員会の構成や意思決定のプロセスなど検討課題が多岐にわたるため、引き続き検討を進めることとし、今回の臨時総会では、事務局業務の委託を先行して決めた。併せて関係する定款の変更も承認された。

今回の決定は、2025年3月29日に 開かれる総会で報告され、4月1日か ら事務局業務が大学に移管される。

廣岡会長は「同窓会のミッションを 改めて確認することから始めて、よ り幅広いネットワークや活動を通じて、 同窓生のため、在学生のため、大学の ため、さらに今後の学生のためにでき ることを考えてきた。事務局業務の委 託はその一歩。より良い方法やあり方 をこれからも共に考えてもらいたい」 と話している。



対面で開かれたオンライン・アラムナイハウスで説 明に聞き入る同窓生 (2023年12月3日)

ホームカミングでも明日の同窓会プロジェクトについて説明する機会を設けた(2024年3月3日)

評議員会で明日の同窓会プロジェクトの進捗状況を 説明する廣岡会長(2024年10月5日)

### Think globally, act locally.

### "ここ"から始まるストーリー

国内の"ある場所"で活躍する仲間にスポットを当て、その活動や経緯などについて話を聞く本シリーズ。 今回は、「人身売買」や「奴隷制」が決して海外だけの問題ではなく、日本の私たちにも身近な問題である として、啓発活動に取り組むノット・フォー・セール・ジャパンの山岡万里子さんに話を聞いた。

# 人身取引ってなんですか? What is Human Trafficking?

啓発動画

### 人身取引、強制労働は、市民がなくす

東京都 **ノット・フォー・セール・ジャパン** (NFSJ) 代表 山岡万里子さん (34 ID90)

文: 今井 順(本誌) 写真: 本人提供

「人身売買」「奴隷制」と聞くと、海外の話かなと思う人が多いのではないだろうか。そう、確かに今世界には、人身取引や借金による束縛、強制労働の被害者が約5千万人もいる。でもいっては他人事、と思ってよいもけではない。若い女性や外国人技能と関係産業で使う例や、外国人技能と習生らの低賃金労働など、グローバルを問題と同じ構造を持つ問題が、グローバルなつながりを持ちつつ、日本に「ノット・フォー・セール・ジャパン(NFSJ)」を設立した山岡さんは、そんな問題に目を向けてもらおうと、様々な啓発活

動を展開し、今日まで続けている。根底には、人としての権利を奪われている人びとの問題を、市民の手で根絶したいという思いがある。

### 翻訳した本がもたらした活動

山岡さんは神戸出身。クリスチャンの家庭で育ち、神戸女学院中高部に進学、在学中にアメリカへ留学し、その後ICUに入学した。専攻は社会学。南アフリカのアパルトへイト(注1)についての卒業論文を仕上げた。印象に残っているのは、鉱山資源で潤う経済に打撃を与えることで社会体制を変えようとした、ダイヤモンド消費のボイコット

運動。消費者の力が心に残った。卒業後、ICU在学中に知り合った山岡三四郎さん(34 ID90)と結婚。会社勤めをしていたものの、第一子の出産で退職。三四郎さんの海外留学にも同行し、そのころ高校時代から念頭にあった翻訳者になるための勉強を始めた。帰国後、

翻訳家の東江一紀氏に師事し、実際に翻訳を手掛けるようになった。『ファストフードが世界を食いつくす』(エリック・シュローサー著、東江一紀訳(楡井浩一名義)、2001年)などに関わり、市民、消費者としてできることを真剣に考えた。

# けハンドベルに参加した経験から、所属教会のハンドベルクワイアに所属。ここ数年はICUベルベッパーズののB・OGチーム「ベル・クサレ」の活動にも参加している。また昨年度のDAY賞受賞者ウィリアムズ都子さんが主宰する和解の読書会にも数年前から参加。ICU卒業生との新たな出会いがもたらす歓びを実感している。

YAMAOKA, Mariko

1986年ICU入学。在学中はEPS (英語劇クラブ) に所属。 企業勤務を経て翻訳業。2011年NFSJを設立。「人身売 買禁止ネットワーク (JNATIP)」 運営委員、「消費から

持続可能な社会をつくる市民ネットワーク(SSRC)」共同代表幹事。人身取引関連の訳書は他に『性的人身取引:現代奴隷制というビジネスの内側』(カーラ/明石書店/2022)、『現代の奴隷:身近にひそむ人身取引ビジネスの真実と私たちにできること』(ヴィラ/英治出版

/2022) がある。プライベートでは、学生時代に少しだ

@Yuriko Ochia

### I Chiropractic You

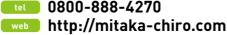
「ICUを卒業して、どうしてカイロプラクティックの道に進んだのですか?」という質問をよくいただきますが、その際は「ICUの別名が、"I Chiropractic U (You) "だからです」と冗談交じりにお答えしています(笑)。実際のところ、私がカイロプラクティックの道を選んだのは、小学校1年生のときに、6年生がフルスイングした野球のバットが頭に当たる事故に遭い、その後8年間にわたり原因不明と言われた外科的および内科的な症状(入院歴、計5週間)が続き、健康上の理由で一時期は高校、大学進学を諦めていましたが、カイロプラクティックを受けて劇的に体調が改善し、人生が好転したためです。運良く国際基準のカイロプラクティックに出会えたことで、ICU在学中は学業(女性学専攻)だけでなく、アルバイト、サークル活動、学外での演劇活動、海外旅行など、多くの経験を積むことができました。そして、かけがえのない友人と出会い、バカ山でしし座流星群を寝そべりながら毛布をシェアした思い出は、今も心に残っています。

カイロプラクティックの国際基準は、国内の整体やカイロプラクティック専門学校のようにすぐに技術を学ぶことができず、まず基礎医学をしっかり学んだ後に専門的な知識や技術を身につける大学教育だということです。そのため、ICU在学中にダブルスクールで国内のカイロプラクティック専門学校に通い、その後アメリカのカイロプラクティック大学に2校在学し、最終的にオーストラリア公立マードック大学健康科学学部に編入し、Health Sciences (Chiropractic) の学位を取得しました。この26年間で17万人以上の施術実績があり、姿勢に関する書籍を廣済堂出版から2冊出版しています。現在では、現役ICU生にも体調を整えて存分にICU学生生活を楽しんでもらえるよう貢献できることが、私にとって大きな喜びです。今では、ICUの現役学生、同窓生、教職員のみなさまにも多く通院いただいており、毎日が同窓会のようで楽しく、三鷹に開院して本当に良かったと感じています。

### ファミリーカイロブラクティック三鷹院

ICU卒業生の佃隆(2000年卒)とパートナーの佃美香が1993年より運営しており、毎年1万人以上の方が通院されています。三鷹駅南口徒歩1分の当院では、姿勢のゆがみと症状の関連性を見極めるカイロプラクティック検査を行い、症状の原因を特定し症状を改善していきます。お気軽に来院ください。

「ICUアラムナイニュースを見て・・・」とお電話ください。



〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-24-7 平嶺ビル301号室







左から/左端が山岡さん、右端が栗山さん/ NFSJ が主催する、少人数での学びの場「NFSJ カフェ」

実は、こうして始めた翻訳の仕事が 今の活動につながっている。翻訳した い本を探していたある日、後に山岡さ んが訳出する『告発・現代の人身売買 奴隷にされる女性と子ども』(デイヴ ィッド・バットストーン著、朝日新聞出 版社、2010年)の原書に出会った。著 者であるバットストーン氏と会話を重 ねる中、同氏が2007年にアメリカで 立ち上げていたNot For Saleという NGOの日本支部を作らないかという話 になった。一人でできるのかという不 安はあったものの、バットストーン氏 の来日講演などに関わってくれた人た ちに声をかけ、NFSJを立ち上げること ができた。その後ICUの同期生でもあ る栗山のぞみさん(34 ID90) といった 仲間を得、年に一度のニュースレター の発行、カジュアルな学びの場である 「NFSJカフェ」の開催、パンフレット や啓発動画の作成、講演会や学校への 出前授業、イベントへの出展などを行 っている。

こうした活発な活動は、政府への提 言やその他市民団体との連携につな がっている。NFSJは、日本国内の人 身取引の撲滅に取り組むNGO・研究 者・法律家などが連帯する「人身売買 禁止ネットワーク(JNATIP) | に参 加している。JNATIPでは内閣官房を 窓口とする人身取引対策関係省庁と対 話を行い、なかなか進まない政府の対 策に粘り強く意見を申し立てている。 また他団体と共同で、女性差別撤廃条 約など国連人権条約委員会へのレポー トも提出。山岡さんはJNATIP内でこ れらの意見のとりまとめや連絡・調整 を担っている。

### 環境や人権のための消費って? ――「企業のエシカル通信簿|

人々にエシカル消費を呼びかける運 動にも力を注いでいる。NFSJで活動 する中、チョコレートの原料であるカ カオ生産に係る児童労働、アパレル業 界を支える縫製工場での搾取労働、電 子機器産業の川上に存在する労働環境 の問題などについて注意を喚起したい 思いがあった。そんな中、京都の老舗 NPO「環境市民」による「消費から持 続可能な社会をつくる市民ネットワ ーク」(SSRC) 設立の呼びかけに応 え、ここでは共同代表幹事を務めなが ら、主に「企業のエシカル通信簿」作 成に関わっている。この通信簿は、企 業を環境問題やアニマルウェルフェア などへの対応から評価するものだが、 NFSJは主に人権・労働問題への対応 の評価を担当している。人・社会・地 域・環境に配慮した消費を促すために、 どんな企業活動に着目すればいいのか 見えるようにしたくて始めた活動だっ たが、思わぬ副産物があった。通信簿 作成過程で企業とやりとりをするのだ

が、その対話に企業が意味を見出して くれるようになった。人々の消費行動 という。

アダストリア

<2023年度「企業のエシカル通信簿」アパレル企業 レイティング結果レーダーチャート>

**电性品**更

ールト

### もっと伝えたい

企業のエシカル通信簿

山岡さんのお話を伺っていると、日 本人が人身取引や強制労働の加害者に も被害者にもなっていることがよく分

かる。そして消費者として、市民とし てできることがあることも。ニュース レターを拝見すると、毎週一回は催し やイベントへの参加などがありお忙し そうに見えるが、もっともっと伝えて いきたいと言う。特に、産業界や大学、 高校での出前講義はまだまだやりたい という希望を持っている。やれば手ご たえがあり、問題意識を持ってくれる。 そんな希望に支えられているのだろう。

(注1) 南アフリカで1948年から1994年まで続 いた人種隔離政策。白人優位主義に基づき、社会 生活のあらゆる面で差別的な政策を行っていた。

を変えることで、人身取引や強制労働 のない社会を目指していたが、企業と の対話が企業の行動を変えることがあ ることに気が付いた。マンパワーに限 りがあり、毎年10社程度の評価しか できないが、大きな意義を感じている

### 新規入会&ご利用でもれなく 異22,000円ポイントプレゼント!

カードご利用による売上の一部は同窓会に還付され、入会手数料も還元されます。



三井住友トラスト VISA ゴールドカード

特別年会費





ロードサービス VISA ゴールドカード

特別年会費

300円



WEB入会

https://www.smtcard.jp/lp/goldcard2.html ●お申し込みの際は団体コード入力欄に50140をご入力ください。

お問い合わせ

①郵便番号 ②ご住所 ③お名前 (メールの場合:ふりがなもお願いします)④お電話番号 ⑤所属団体名: ICU同窓会 をお知らせください。

くわしくは同封のチラシをご覧ください!



🦝 0120-370-070 受付時間:9~17時(土・日・祝日・12/30~1/3を除く) 💌 Toiawase@smtcard.jp ●記載のポイント換算は1ポイント1円相当でポイント交換した場合です(交換内容によっては1ポイント1円相当にならない場合も ございます)。 ●いただいた個人情報は入会申込書送付先にVISAカード入会申込書を送付することに限定します。

### **A\_People** 小檜山ルイ (24 ID80)

### 各ジャンルで活躍の同窓生を紹介

フェリス女学院大学初の女性学長として2024年4月に就任した小檜山ルイさん。 それまで法人理事としてフェリス女学院に関わってきたが、東京女子大学現代教養学部教授からの転身で、 外部から学長を迎えるのもフェリス女学院大学初だという。従来の3学部を2025年4月から 「グローバル教養学部」に統合して再出発を図る。

「地方の女子大の将来は本当に厳しいのです」と語る小檜山さんの大学改革の挑戦について聞いた。

文:望月厚志(本誌) 写真提供:フェリス女学院大学





2024年4月1日、フェリス女学院大学入学式で 挨拶する小檜山さん。向かって右隣の男性はフェリス女学院学院長の秋岡陽さん

### 新学長として大学改革を推進

またひとつ"教養学部"が誕生する。 フェリス女学院大学はこれまで、文学 部、国際交流学部、音楽学部の3学部 体制だったが、これを新たにつくる「グ ルーバル教養学部」に統合し、"リベラ ルアーツ教育"と"職業に直結する教 育"を全面に打ち出す計画だ。この改 革の推進を任されたのが、2024年4月 1日に新たに学長に就任した小檜山ルイ さん。同大学にとって、女性の学長は初、 東京女子大学教授という外部からの採 用は初、フェリス女学院中高卒という 学院卒業生からの学長就任は初――と いう"初"づくしの学長だ。(ちなみに、 ICU卒業生が学長に就任するのは "初"ではなく、最近では秋岡陽さん (22 ID78) が2012年から2020年まで 学長を務めている。)

小檜山さんは、東京女子大学で教鞭をとる傍ら、2018年からフェリス女学院の法人理事を務めていた。折しも少子化に加え、女子大人気に陰りが見え始めた頃。理事会ではフェリス女学院の生き残りをかける改革計画が議論され始めた。2021年には大学改革のための委員会が立ち上がり、小檜山さんが委員長に任命される。そこでの議論の後に、「私の出した1学部3学科9専攻という案がたまたま通ってしまったのです。ICUも東京女子大もそうでしたが、1学部にすると学科や専攻間の敷居が

低く、入学してからの選択の自由度が 高いなど、いろいろなメリットがあり ます」(小檜山さん)。

改革案の基本が決まった後、亀徳忠 正理事長から「学長をやりませんか」と 要請があった。「日本の大学に17%しか いない女性学長、しかも、フェリス女 学院大学では初の女性学長をやらない かと言われ、フェミニストの私にはノ ーと言えなかったのです」と笑う。

### 新しい切り口で職業を 意識した学びを

「フェリス女学院大学には今、文学部、 国際交流学部、音楽学部の3学部があ ります。それを2025年4月にグローバ ル教養学部ひとつに改組して、今まで と違う3学科をつくります。国際社会学 科、心理コミュニケーション学科、文 化表現学科です。その中に、9の専攻 があります。例えば、日本文学などの 従来科目に加え、アジアを含めた各国 の文化・芸術・文学・歴史・ジェンダ ー・宗教などを学べる「日本・アジア専 攻」、メディア分析・映画分析を通して 現代社会の問題点を理解する、コンテ ンツ制作、新聞・出版・インターネッ トメディアを通して情報を発信する能力 を養う「メディア専攻」といった、今ま でとは違う学びのある専攻を置きます」

「新しいところでは、例えば共生コミュニケーター専攻というのがあります。 今は日本にも多様なルーツを持つ外国 人が暮らすようになりました。言語・ 文化・宗教などの違いを乗り越えて多 文化・多言語が共生できる社会をコー ディネートする力を身につける専攻で オ

「各学科に、その先の職業をイメージできるような、どちらかというと実学的な要素を多く取り入れる専攻が少なくとも1つあります。共生コミュニケーター専攻だったら、自治体職員・NPO・日本語教師といった職業、国際ビジネス・観光専攻だったら、商社やホテル・旅行会社・運輸などの観光産業といったイメージです」

「音楽学部はフェリス女学院大学の看 板のひとつでした。しかし、独立して 広く活躍できる演奏家になるのは大変 困難です。そこで、演奏学科はすでに なくしています。2025年度からは、音 楽・身体表現専攻という専攻を作って、 クラシックからポピュラーまでの音楽 と音楽ビジネス、バレエを含む世界の ダンス、サウンドデザインやコンテン ツ制作を実践的に学べるコースにしま した。加えて、以前から副専攻という 制度があって「ジェンダーとキャリア」 「データサイエンス」といった科目を 学べるのですが、そこに音楽も入れて、 どこの学科に属していても音楽も勉強 できるという仕組みを作ります」

### 女子大ならではの教育がある

今、女子大には大きな変化の波が押

KOHIYAMA, Rui

その後米ミネソタ大学大学院修士課程(アメリカ研究プログラム)を修了し、1991年3月ICU大学院比較文化研究科 博士後期課程を修了(学術博士)。関東学院大学経済学部一般教養課程助教授、ロックフェラー財団フェロー(アイオワ大学)、東京女子大学現代文化学部教授、フルブライト研究員(ニューヨーク州立大学)、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、ジェンダー史学会代表理事、キリスト教史学会理事長などを歴任する。専門はアメリカ女性史・ジェンダー史と日米関係史で、「米国から来日しミッションスクール開設などで活躍した女性宣教師たち」などをテーマに研究。2009年から東京女子大学現代教養学部教授として教鞭をとる傍ら、2018年からは学校法人フェリス女学院の理事・評議員も務める。2024年4月にフェリス女学院大学学長に就任。著書に「明治の「新しい女」」(勁草書房、2023年)、「帝国の福音」(東京大学出版会、2019年)、「アメリカ婦人宣教師」(東京大学出版会、1992年)などがある。

フェリス女学院中学・高校を経て、1980年にICU(教養学部語学科) を卒業。

し寄せている。少子化に加え、受験生の共学校指向で、受験者や入学者が減り、定員割れを起こす名門女子大も出てきた。共学化する元女子大も各地にある。そういう状況に対して、フェリス女学院大学は今後どうするのか。

「フェリス女学院は、日本における女子ミッションスクールの草分けで、大学ができたのは戦後ですが、学院は1870年創立で155年の歴史があります。それ故に女学校というイメージが強い。だから共学化しても男子学生が来てくれるか分かりません。

私が推進したいと思っているのは『開かれたフェリス』です。共学も含め他の大学と連携協定を結んで、単位互換やさまざまな分野での協力を進めます。2024年10月には同じ神奈川・横浜の地で発展してきた横浜国立大学と相互協力・連携協定を結びました。今後、こういった連携協定を増やし、男子学生にもフェリスに学びに来てもらいたいと思っています」

「もうひとつは、ジェンダーの観点から女性中心の学問体系というのを展開してアピールしたいと思っています。現在の歴史ある共学大学は、もともと男子だけの大学で時代とともに女子も入学するようになったものが多い。そういった大学は実は男性中心の学問体系中心で大学ができていたりします。

フェリスは女子大として、女性を中心に置いた研究や学び、ジェンダーの観点に基づく学問を多くそろえていって、そこに他大学の男子大学生も学びに来る――そんな大学としてアピールしていきたいと思います」

### お邪魔します! あのメジャー

### 全31の中から気になるメジャーを紹介

今回ご紹介するメジャーは、化学です。

環境問題の解決に直結する化学研究の社会的意義、そしてICUの中で化学を学ぶ意義について、峰島知芳先生に熱く語っていただきました。

文・写真: 亀山詩乃(本誌)

### 環境問題や環境的公平性に 貢献したい

大学生になる前から、環境問題に貢献したいという想いがありました。入学した学部では環境を専門とする先生がおらず物理化学を専攻したのですが、博士課程に進むときに、今まで自分が培ってきた気体分子の研究技術と環境問題とが重なる分野として、大気化学を選びました。

現在は、大気中の化学物質とその 化学反応を研究しています。例えば二 酸化炭素(CO2)の排出が問題になっ ていますが、目に見えない化学物質が 大気中に排出されて化学反応を起こし、 健康被害・植物や農作物への被害・オ ゾン層破壊・地球温暖化などさまざま な影響を及ぼします。私の研究対象は 主に窒素酸化物で、その生成過程や反 応や消滅過程を研究しています。土壌 や、最近は下水処理場で使われる活性 汚泥についても関心があります。下水 は栄養豊富なので窒素酸化物や温室効 果ガスが発生しますが、どのような微 生物がいると多く発生するのか?どの ような微生物がいると分解能力が高い のか?減る条件は何か?ということを 明らかにすることを目的に研究してい ます。専門は大気化学ですが、研究を 進めるにつれて、自分がこれまで携わ ってきた分野だけではなく生物学の分 野も必要になってきています。より新 しいことに挑みたいと思い、自分自身 でも学びながら境界領域に挑戦してい るところです。

研究を通して貢献したいのはEnvironmental Equity (環境的公平性)です。例えば、途上国ではプラスチックが適切に処理されず、屋外で燃えてしまったり家の中の釜で石炭を燃やしたりと、健康に直接的な影響を及ぼす習慣が続く地域もあるようです。社会的弱者が一番影響を受けるので、そのようなことによる健康被害を将来的に減らすことに貢献したいと思っています。

### 人間社会がより良く より豊かになるために

目の前にある机もPCも私たちも、世の中の実体のある物質は全て化学物質でできていると言っても過言ではありません。人間や地球を理解するためには、

化学や化学物質について理解するのは基本中の基本です。化学物質について分からなかったら環境問題も論じられません。例えばオゾン層破壊やCO<sub>2</sub>増加や水道水汚染も、何が?どのくらい?どこにあるか?を分析して証拠として出すのが大切。物事を推測で話すのではなく証拠を出すことができるという点で、分析化学はとても強力なツールなのです。

次世代の機能性物質を開発している 先生や、放射性物質やポリマーについ て研究している先生など、ICUの化学 メジャーにはさまざまな分野の専門家 がいますが、共通しているのは「仕組み を解明したり新しい物質を作ったりす ることによって、人間社会がより良く より豊かになるように、地球環境がよ りサスティナブルに、より長く暮らせ る社会になるように」というのを見据 えて研究していることだと思います。

### ICUの中で化学を学ぶ意義

理系の研究所などでは、自分の専門分野とその周辺分野の人が多いので、多くを語らずとも阿吽の呼吸で理解し合えることがあります。一方ICUでは、否応なく他分野の人と話すことがとても多く、丁寧に説明したり自分なりになぜだろうと再考したり、全体の中での自分の研究の位置付けや重要さを改めて問われることもあります。また、文系の研究に触れることも結構あるので大きな刺激になりますね。

### GEの授業を通して 伝えたいこと

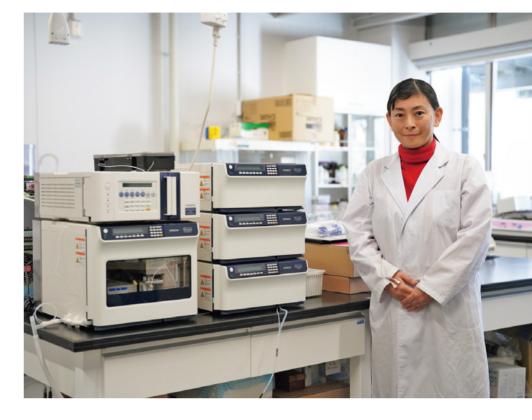
GEの「自然の化学的基礎(The Chemical Basis of Nature)」の受講 生の約9割は、いわゆる文系の学生です。 物質とは何か?原子とは何か?という 基礎も学びますが、主に身の回りのこ とを化学の目で捉える授業です。私は 大気や海洋に関する内容が多いですが、 有機化学の先生なら有機ELディスプレ イの話や、豆腐が固まる過程で何が起 こっているのかという話なども。昨年 は環境の藤沼良典先生と生物のグホ・ サビン先生とティームティーチングの 他の食品科学をテーマとしたGEの授 業で、キャンパス内のコーヒーのカフ ェインや酸の量を分析機器で測定し分 析結果と自分の味覚を比較したり、パ ンや野菜を電子レンジやオーブンで温

### 第29回 化学 峰島知芳 上級准教授

MINEJIMA, Chika

国際基督教大学 上級准教授

東北大学でM.A.(化学) を取得後、カリフォルニア大学バークレー校にてPh. D.(化学) を取得。 2014年4月にICUに着任。専門は、大気化学、分析化学、大気中の反応性窒素酸化物に着目し、その発生源を探るために日夜奮闘している。



めた際の味や水分量の比較を行ったり、 科学的に健康なレシピを考えたりしま した。化学分析で実際に量を測定する のは面白かったようで、議論が盛り上 がった一つの要因だと思います。私も、 分析化学のパワーを再認識することが できました。

ICUを卒業した方々は、リーダー的な立場になる方が多いですよね。例えば、環境問題でも工場でも、問題が起きた際、データが示されたときに化学記号を見ただけで思考停止になってしまうようだと困ります。ですからリーダー的な立場になる者として、自分では直接研究しなくとも科学者やエンジニアなどさまざまな分野の人と話ができるようになってほしいと思っています。また、消費者としても科学的証拠が十分でないエセ科学に騙されず自分で判断する目を持ってほしい、というのはGEの授業で伝えています。

### 世の中が言う成功よりもその人らしく生きてほしい

卒業研究は学生にとって大きな挑戦です。実験の計画を立てるのは大変ですし、やってみたらなかなかうまくいかないし、想像と全然違うという大きな壁にぶつかることもあります。ですが、何か一つのことに夢中に取り組み自分なりに挑戦することは大きな学びになります。また、そのように壁にぶつかる経験を通して、物事の考え方や自分の性格など、自分自身についても深く理解できるような気がします。卒業後、

世の中が言う成功や世間的に見た活躍よりも、その人なりに、やってみたい、こうありたいと思ったことを実現して、その人らしく生きていってほしいですね。そして、少し余裕があったら、周りの人に少し優しくすることが出来たら、素晴らしいと思います。

### 化学のデータ

● 開講されている主な授業科目 (2024年度現在)

化学概論

基礎化学実験

基礎化学

化学入門

分析化学I

分析化学実験

無機化学I 有機化学I

有機化学実験

物理化学I

物理化学実験

化学実験

分析化学Ⅱ

分析化学特論

無機化学Ⅱ、Ⅲ

無機化学特論

無機化学実験

有機化学Ⅱ、Ⅲ

有機化学特論 物理化学Ⅱ、Ⅲ

物理化学特論

化学特別実験Ⅰ、Ⅱ

化学特別研究Ⅰ、Ⅱ



左から/かっぱくんとピザ/部室に残る過去のノート/部室入り口/2023年 ICU 祭

### From the University

献学時、または皆さまが在学されていた当時から続く学生団体が、今も多数活動しています。 学業だけにとどまらないICUのもう一つの魅力、課外活動における学生の活躍をご覧ください。 文・写真: 各団体より提供

### ICU人形劇研究会ぱぺっと

ICU人形劇研究会ぱぺっと(通称: ぱぺっとサークル)は人形劇を制作・ 発表するサークルです。部室には 1982年からの台本ファイルやノート がある歴史のあるサークルで、60年 以上前に創設されたと先輩から伝え聞 いています。現在は主に花見・月見 における新入生歓迎イベント、ICU祭 での人形劇公演を行っています。ミ ーティングは学期中に週 1回ほど行い、 ICU祭など追い込み期は週3回ほど人 形劇制作のために活動しました。人形 劇の制作には、先輩方がこれまで作っ てこられた人形などを生かしながら、 新しく脚本を執筆、人形を制作し、演 出を考えます。テレビで少し見たこと はあっても、入部するまで人形劇に直 接関わった経験がある部員はなかなか いないため、人形操演や人形劇に適し た脚本や演出で苦戦することもありま す。ですが、部員全員でアイデアを出 し合って、試行錯誤しながら協力して 一つの劇をつくりあげることや、観客 の前で上演する時の不安と高揚感、達 成感は私たちの活動の原動力となって います。また、公演に来ていただいた 方からの嬉しい感想は、脚本・演出・ 人形操演・人形制作など、劇を作り上 げた全ての部員のやりがいにつながっ ています。

ぱぺっとサークルの良いところは創 作系サークルのいいとこ取りができる ところです。脚本・操演・音響照明な どの演出・人形制作やハンドメイド作 品の制作などさまざまなことができま す。部員と「こんなことがしたい」「あ んなことがしたいね」と話し合い、協 力しながらやりたいことを叶えられる ところが魅力の一つだと考えていま す。また、今年度のICU祭では同窓生 の方々に多く来場していただきました が、その中のお一人から「ぱぺっとは 部員がみんなふわふわしていて平和で 良い」とお言葉をいただきました。部 員の雰囲気が和やかなのも、おそらく ずっと変わることなく続いてきたこの サークルの良いところだと考えていま す。

コロナ禍では対面での活動が減り、 なかなか部員が集まらなかったと聞い ています。現在も部員の数は多くあり ませんが、少人数ながらも活動に情熱 を持ち、日々奮闘しています。いつで も入部したい方を募集しています。

現在の私たちの活動はインスタグラ ムで紹介していますので、右ページの QRコードからぜひご覧ください。ま た、これまでのぱぺっとサークルがど のように活動していたのかを知りたい とも思っています。ご存知の同窓生の 方々からのメールやインスタグラムの DMなどお待ちしております。先輩方 が紡いでくれた歴史を絶やさないよう これからも努力していきますので応援 をよろしくお願いいたします。最後に、 ぱぺっとの卒業生の方々はもちろんの こと、他の同窓生の方々にも公演に来 場していただきたいと思っています。 毎年ICU祭で人形劇の公演を行ってお りますので、キャンパスに足を運びが てらぜひお越しください。お待ちして

【設立年】60年以上の歴史があると言 われています。詳細を知っている同窓 生の方、いらっしゃいましたらご連絡 をお待ちしています。

【現在の在籍人数】約10人

【活動日】学期によりますが週1回お 昼休み

【活動場所】ディッフェンドルファー 記念館東棟303号室

【直近のイベントや試合など】2024年 度ICU祭では公演と展示、販売を行い

【SNSおよび連絡先】

email:puppet.icu@gmail.com Instagram: @icupuppet / @ icupuppet\_shinkan.2025 (新歓用ア カウント)

### サイクリング部

サイクリング部は、1980年に設立 され、現在は部員約50人が所属する ICU公認の学生団体です。主な活動と しては、月1回の関東近郊での日帰り ランや、長期休み期間中の長期ランに なります。長期ランでは、毎年夏は北 海道へ、春や秋は九州地方や中国・四 国地方など全国各地を自転車で走って 観光します。

コロナ禍においては、活動が制限 されてしまうことが多くありました が、2022年頃からコロナ禍以前の活 動を再開することができております。 2022年に、2年ぶりの夏ランやICU 祭を再開するにあたり、経験者が少な かったが故に、多くの困難が伴いまし たが、先輩方のご協力により無事に 復活させることができました。2024 年の夏ランでは、上はID24から下は ID28と総勢26人で、北海道の大自然 や絶景、そして地元のグルメを楽しみ つつ日本最北端である、北海道・宗谷 岬を目指して走りました。夏ランでは、 テント泊をしたり、大きな鍋で自炊を したり、時には大雨の中、長距離を走 ったりなど、日常では体験することの ないさまざまな経験ができます。とき にはハプニングもありますが、その分、 全員で無事に完走することができた際 の達成感は特別なものがあります。

サイクリング部の魅力は数えきれな いほどありますが、普段の旅行では訪 れないような秘境を自転車で観光する こと、日本各地の美しい風景を眺める こと、そして、それらを学年の垣根を 超えて部員全員で共有できることが最 大の魅力であると感じています。ま た、写真が大好きなサイクリング部な ので、毎回のランでは何百枚、何千枚 もの写真を撮影し、学生時代の大切な 思い出として一人ひとりの心に刻まれ ます。また、各ランでは旅先や走行ル ートなどの旅の計画を中心になって立 てるプランナーという役割があります。 計画をするにあたり壁にぶつかること もありますが、自分たちで一つのラン を作り上げることができたという経験 や、ラン最終日にプランナー以外の部 員から渡される温かいメッセージが書 かれた色紙は、プランナーにとって宝 物となります。2024年の秋ラン以降、 1年生であるID28が積極的にプラン ナーを務めてくれています。

サイクリング部では卒業生との交流 の場もあり、毎年9月には現役生と卒 業された先輩方とで1泊2日のランを 実施しています。幅広い年代の方々に ご参加していただき、現役生にとって 貴重な機会となっています。また、長 期ラン中に差し入れをしていただいた り、備品の寄付などもしていただいた りと、私たち現役生は卒業生の皆さま に支えられて活動することができてい ます。サイクリング部では、日々の活 動をInstagramにて配信しております ので、ぜひご覧ください。今後とも ICUサイクリング部をよろしくお願い いたします。

### 【設立年】

1980年(2025年時点で設立45年) 【現在の在籍人数】54人

【活動日】週1回の定期ミーティング、 月約1回の定期ラン、長期休み中の長

【活動場所】日本各地

【直近のイベントや試合など】春休み に沖縄で長期ランを計画。

【SNSおよび連絡先】Instagram:@ icucyclingclub.official

\*このページは、各学生団体からの寄稿で構成し ており、内容の事実関係の確認は当該団体におい







左から / 2022 年夏ラン 北海道・紋別 / 2024 年夏ラン 北海道・宗谷岬 / 2023 年夏ラン 北海道・霧多布

### From the University

Many of the student groups, established when ICU first opened its doors to students and also while you were students at the university, still continue to be active today. Not just limited to academic studies, ICU's appeal also extends to its extracurricular activities. Please take a look at the active participation of students in their extracurricular activities.

Text and photo provided by each group and club

### **ICU Puppetry Club**

The ICU Puppetry Club, commonly known as the Puppet Circle, is a club dedicated to creating and performing puppet theater. With a history spanning over 60 years according to alumni, the club's room houses files and notes dating back to 1982. Currently, our main activities include hosting welcoming events for new students during the cherry blossom-viewing Hanami and moon-viewing Tsukimi festivals, as well as performing puppet shows at the ICU Festival. We typically hold meetings once a week during the term but ramp up to three times a week during the preparation period for events like the ICU Festival. Our creative process involves writing new scripts, crafting puppets, and developing stage direction while utilizing puppets created by past members. Since aside from having watched it on tv most members have little to no prior experience with puppet theater before learning to operate puppets or writing suitable scripts and directing performances can be challenging at first. However, brainstorming and overcoming these challenges through trial and error as a team to complete a performance—experiencing the thrill, anxiety, and satisfaction of performing before an audience - are the driving forces behind our activities. Positive feedback from attendees further inspires every member, perfecting the show by scriptwriting, directing, puppeteering, and puppet creation.

One of the great aspects of the Puppet Circle is the variety of creative experiences it offers. From script-writing and performance operation to sound and lighting production, as well as crafting puppets and other handmade projects, members can try a range of activities. Discussing ideas and ambitions with fellow members and working together to achieve them is one of the most appealing parts of the club. At this year's ICU Festival, many alumni attended, with one commenting that "Puppet members have a carefree and peaceful at-

mosphere." This enduring warmth among members has likely been a constant throughout the club's history and remains one of its key strengths. During the COVID-19 pandemic, in-person activities were limited, thus making recruiting new members difficult. While our current membership is small, we continue to pursue our passion for puppet theater with enthusiasm and dedication. New members are always welcome to join.

Our current activities are featured on Instagram, so please check them out via the QR code below. We are also eager to learn more about how Puppet Circle operated in the past. If there are any alumni that have any information or stories to share, we would love to hear from you through email or Instagram direct messages. We are committed to preserving the legacy passed down by our predecessors and would greatly appreciate your support. Lastly, we warmly invite not only Puppet alumni but also other ICU alumni to attend our performances. We hold puppet shows annually at the ICU Festival, so please take the opportunity to visit the campus and enjoy a performance. We look forward to seeing you there!

**[Year of foundation]** Believed to have a history of over 60 years. If any alumni have more details, we would love to hear from you.

[Number of current members]

Around 10

[Days of activity] Once a week during

lunch breaks (varies by term)
[Place of activity] Diffendorfer Memorial Hall East Wing, Room 303
[Recent events, contests, etc.]

At the 2024 ICU Festival, we held performances, exhibitions, sold merchandise.

[Social Media]
email: puppet.icu@gmail.com
Instagram: @icupuppet, @icupuppet\_
shinkan.2025 (account for new member recruitment)

ICU人形劇研究会ぱぺっと ICU Puppetry Club



### **Cycling Club**

The Cycling Club was established in 1980 and is now an officially recognized student organization at ICU with approximately 50 members. Our main activities include monthly day rides around the Kanto region and extended rides during long vacations. During our extended rides, we explore various parts of Japan by bicycle: Hokkaido in the summer and regions like Kyushu, Chugoku, and Shikoku in the spring and autumn, enjoying both sightseeing and cycling.

While the COVID-19 pandemic largely limited our activities, we were able to resume our pre-pandemic activities around 2022. The summer ride and ICU Festival were revived for the first time in two years in 2022, and although we faced many challenges due to the lack of experienced members, the support of our alumni helped us successfully restart these traditions. During the 2024 summer ride, 26 members spanning ID24 to ID28 cycled through Hokkaido's vast natural landscapes and stunning scenery, and indulged in local gourmet cuisine, aiming to reach Cape Soya, Hokkaido, Japan's northernmost point. The summer ride offers a variety of unique experiences, such as camping in tents, cooking meals in large pots, and sometimes enduring long rides in heavy rain. Although there are occasional mishaps, they make the sense of accomplishment upon completing the ride together feel all the more extraordinary.

The charm of the Cycling Club is countless, but the biggest appeal lies in exploring hidden gems by bicycle that are hard to reach on regular trips, admiring the beautiful scenery across Japan, and sharing these experiences across different academic years. The Cycling Club is also passionate about photography, capturing hundreds or even thousands of photos on each ride, creating cherished university memories for everyone. For each ride, certain members also take on primary planner roles to organize

itineraries and routes. While planning can be challenging, the experience of successfully creating a ride and the heartfelt messages written on a card from other fellow members at the end of the ride become invaluable treasures for the planners. Since the 2024 autumn ride, first-year ID28 members have actively taken on the role of planners.

The Cycling Club also fosters connections with alumni, and every September, we organize a one-night, twoday ride with current students and alumni. This creates a valuable opportunity for current students as they are able to interact with people of different age groups. Alumni also support us in many ways, such as providing ingredients during extended rides or donating equipment, which allows us to continue our activities as current members. The Cycling Club regularly shares updates about its activities on Instagram, so please check them out. Thank you for your continued support of the ICU Cycling Club!

[Year of Establishment] 1980 (45 years as of 2025)

[Number of Current Members] 54
[Activity Days] Weekly regular meetings, monthly regular rides, and extended rides during long vacations
[Activity Location]

Various regions across Japan

[Upcoming Events or Competition]

Extended ride planned in Okinawa during the spring vacation.

[Social Media]

Instagram: @icucyclingclub.official

サイクリング部 Cycling Club



### From the Alumni House

### 「9期生の集い」の報告

文:三好正夫(9)

10月7日、9期生(ID65) 32名がアラ ムナイハウス・ラウンジに集いました。 お互い顔より先に名札に目が行き、何十 年ぶりかの再会を喜び合いながら、富岡 理事の案内でキャンパスツアーがスター ト。トロイヤー記念館、新寮群に体育施 設と立派過ぎる(?)施設に感嘆した後、 ラウンジに戻り、現在の学生数、学費、 31メジャーなどの話に戸惑った処でした が、岩切学長のお話から我々が学んだ建 学の精神にはいささかの揺らぎも無いこ とに安堵するとともにわれわれのICU愛 も変わりないことも確認致しました。時 間の経つのも忘れた歓談が続きました が、誰からともなく始まったICU Song の大合唱で閉会となりました。



### 10期最後の同期会

文:水之江郁子(10)

2024年3月桜祭りで、久しぶりに同期 数名が顔を合わせた。そろそろ一度集まっても……という声が上がり、何となく 有志が準備をはじめることとなった。

10月23日は、同窓会館での集合とともに、大学礼拝に参加できる時間帯を設定し、チャペルへ向かった方々もいた。とても驚いたのは、出席者が33人に対し、逝去者が32人と多かったことである。同期会の冒頭に、(旧) 讃美歌488番を合唱して、思いを馳せ、追悼した。

その後、お弁当とICUワインをいただきながら、1人1分のスピーチ。

なごやかな時が流れた。富岡理事が駆けつけて、ICUの現状までを急ぎ足でご説明下さって、その後全員集合の記念撮影。キャンパス・ツアーなどへ出た方々も、熱心に議論をされる方々も。短時間ではあったが、心温まる集いとなった。



### ワンダーフォーゲル創部60周年を 祝う会報告

文:山田哲(31 ID87)

1964年に有志のメンバーによってICU ワンダーフォーゲル部が創られて60年になりました。これを記念して2024年11月17日に祝う会を開きました。当日は創立メンバーから現役の部員まで80人が集合しました。

パーティーでは60周年記念事業の報告、OBOGへの記念品贈呈、現役の活動紹介、有志による演奏、グループトークなど盛りだくさんのプログラムでにぎやかな会になりました。

最後に記念撮影をして70周年にまた 集まりましょうと声を掛け合って解散しました。



### 北陸支部会の開催のご案内

文:松島保真(40 ID96)

2018年以来7年ぶりに北陸支部会を開催します。2024年1月1日に発生した能登半島地震、それに続く9月21日の豪雨により能登半島を中心に甚大な被害が出ています。そこで今回の支部会では様々な形で被災地を支援している同窓生たちの様子を伺い、同窓生たちの様子を伺い、同窓生の扱う石川産の物品販売など、被災地に思いを寄せ、少しでも支援できればと願っています。また、今回は会場に来られない方もZoomを利用し、オンラインで参加できます。ぜひ、ご出席ください。

日時: 2025年5月31日(土) 14:30から 2時間程度

会場:日本基督教団小松教会 (〒923-0937小松市本町3-13-3) ※小松駅西口より徒歩約10分

http://komatsu.holy.jp 0761-24-0493

お申込み・お問い合わせ:

icureunion2024inhokuriku[at] gmail.com([at]を@に変えて送信 下さい)

申込締切:2025年4月30日(火) 参加費:大人¥1000・学生¥500・高 校生以下、オンライン参加者は無料 ※同窓生のご家族やICUに興味のある 高校生も大歓迎です。

出席の方は、上記メールアドレス宛に氏名、ID、参加人数、駐車場利用の有無、オンラインで参加する方はその旨、お知らせください。また欠席の方も近況をお知らせくだされば幸いです。なお「支部会で閲覧可能」とあれば支部会で閲覧します。郵送の場合は小松教会松島宛にお願いします。今後詳細は、2025年3月以降掲載のICU同窓会WebのEVENT欄でご確認下さい。よろしくお願いいたします。

### 震災からの復興を願って -----北陸支部の報告

文:田井陽子(39 ID95)

本誌2024年9月号に掲載された日本料 理人の北崎裕さん(40 ID96) は、同年9 月より輪島市門前町にて「海辺の杣径」 の営業を仮店舗で開始した。かつて金沢 の店舗でも同窓生が集まったことがあっ たが、2024年の震災後の炊き出しや仮 店舗にも同窓生がかけつけた。また、大 雨後の炊き出し再開はテレビ番組(能登 に生きる) でも放送され、支部一同が励 まされた。11月末には、ボランティアで 輪島を訪ねた松島保真さん(40 ID96、 北陸支部会世話役・日本基督教団小松 教会牧師)が、北崎さんの料理を堪能し 交友を深めた。他の同窓生たちも、被災 した地域の支援、心のケアなど、様々な 形で震災復興に貢献している。5月31日 に予定している北陸支部会では、様々な 分野で活動している同窓生のつながりを 深め、それぞれの働きを共有し、少しで も震災復興を前に進める力となればと願 っている。今後も、北崎さんの活動含め 復興の様子を同窓会の皆さんに報告して いきたいと思う。

\*『カーサブルータス』2024年12月号でも北崎裕さんの「杣道」が紹介されている(編集部注)

### 同窓会グッズ 新商品のご紹介

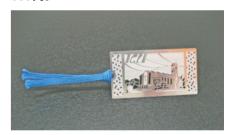
同窓会グッズにこんなものが欲しい、こんなものがあったら嬉しい、という同窓生の声を参考にしながら、いくつかの新製品を製作、販売開始しました。いずれも好評をいただいています。新製品の中から、いくつかご紹介します。

●同窓会ロゴ入りのポロシャツネイビー、レッド、ホワイトの三色。同窓会ロゴが少し光沢のある糸で刺繍されています。ドライ素材(吸汗速乾)、UVカット、消臭機能あり。着心地のよさが人気のポロシャツです。綿60%、ポリエステル40%。サイズは、XS / S / M / L / XLの5種類(男女共通サイズ)です。一枚3000円。



●金属しおり (ICUチャペルをモチーフ)

原画は1980年代に製作された同窓生の作品です。リボンの色が7色。お好みの色をお選びいただけます。サイズは、6cm×3cm。ステンレス製。一枚500円。



●てぬぐい (キャンパスの建物や風景 をデザイン)

綿100%、職人さん手作りの伝統的な本染め注染の手ぬぐいです。肌ざわりがよく、ぬれても乾きが早く、とても実用的です。いろいろな用途にご利用ください。デザインは元事務局員。巾35cm、長さ90cm。一枚1800円。



他にもいろいろな商品を取り揃えておりますので、ぜひ同窓会サイトのグッズのページをご覧ください。ご購入方法についても同窓会サイトでご案内しております。

https://www.icualumni.com/activities/goods/





### 寄付者御芳名 Donors

齋藤顯一(17) エスキルドセン ロバート(G1988) 貴重なご寄付を賜り、誠にありがとうございます。

### たずね人 Missing

池田英人(35 ID91) 深見淳(43 ID99) 田中智己(49 ID05) 市村脩一郎(57 ID13) 野邊大樹(61 ID17) 鳴島歳紀(63 ID19) 動静をご存知の方は事務局

動静をご存知の方は事務局までご一報く ださい。

### 訃報 Obituary

北代淳二(1)

長谷川(旧姓:野口)恭子(1) 田中(旧姓:兼松)弘子(2)

須藤武(6) 小菅敏夫(8) 佐藤達夫(14) 仁木茂(16) 浅野隆造(18)

伊佐(旧姓:福田) 佳子(36)

野々村孝史(38)

三沢正男(20)

心よりお悔やみ申し上げます。

本誌では広告を募集しています。 フルサイズ6万円、ハーフサイズ 3万円で承っております。ご興味 のある方は、詳細を事務局までお 問合せください

### ★ 原稿をお寄せください!

期会、リユニオンなどの案内・報告をお寄せください。本誌および Web サイトに掲載いたします。

### ★住所変更について

住所・勤務先・氏名の変更の際は メールまたは同窓会のWebサイト の住所変更から、ご一報ください。 aaoffice@icualumni.com

地方・海外にご転勤の際には支部 をご紹介いたします。同窓会事務 局までお問合せください。 携帯の 方はこちらからどうぞ:



### ★ ご協力をお願いします

大学の宣伝=大学への支援という 考え方から、同窓生の著作、雑誌 インタビューなどには、略歴欄に 「国際基督教大学卒業」とお入れ いただけますよう、お願い申し上 げます。

### ★同期会やリユニオンのご相談は...

同期への連絡、学内の施設予約、 ケータリング関連の情報提供な ど、同窓会事務局がサポートしま す(一部有料)。 久しぶりにキャ ンパスで集いたいという気持ちが 芽生えたら、お気軽にメールでご 連絡ください。

aaoffice@icualumni.com

### アラムナイニュース電子版のお申込み同窓会メールマガジン配信先のご登録

- 1) アラムナイニュースの電子版配信をご希望の方は、下記フォームからご登録をお願いいたします。ご登録いただきますと、郵送でのお届けは行わずにメールで電子版をご案内いたします。
- 2) 2023年1月から、ICU同窓会員向けにメールマガジンによる情報発信を始めました。メールマガジンが届いていない方は、メールアドレスのご登録がないか、古いアドレスが登録されている可能性があります。

ぜひこの機会に、最新のメールアドレスのご登録をお願いいたします。 登録はこちらのフォームからお願いします。(住所変更と共通のフォームです) https://www.icualumni.com/to\_alumni/register/

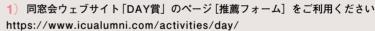


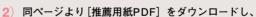
### DAY賞候補者をご推薦ください —

Distinguished Alumni of the Year (DAY) 賞は、国際基督教大学に在籍したことのある方 (卒業生・留学生・教職員。ただし故人は対象外)の中から、大学および同窓会の知名度・魅力度を高めることに貢献した方に対し、その功績を称えるために贈呈されます。皆様からのご推薦をお待ち申し上げております。

- ※ 自薦・他薦を問いません。
- ※ 推薦は年間を通して受け付け、毎年10月15日受け付け分までを選考対象として翌3月の 桜祭りで受賞者を表彰します。
- ※ 受賞者は同窓会ウェブサイトおよびアラムナイニュースで発表されます。
- ※ 推薦および選考の過程については公開されません。
- ※ 歴代の受賞者は、ウェブサイトをご覧ください。

### 推薦方法 いずれかの方法でご推薦ください





必要事項をご記入の上ICU同窓会事務局あてに郵送またはFAXでお送りください。

- 3) メールに以下の必要事項を記載してICU同窓会事務局宛にお送りください。
- ①推薦したい方の氏名
- ②推薦したい方の卒業年あるいは在籍年(分かる範囲で)
- ③推薦理由:新聞記事などの客観的資料があればあわせてお送りください。
- ④あなた(推薦者)の氏名、卒業年または学生ID、住所、電話番号、メールアドレス

ICU同窓会事務局 〒181-8585東京都三鷹市大沢3-10-2 TEL&FAX: 0422-33-3320 E-mail: aaoffice@icualumni.com

### 通訳・翻訳 37年の経験と実績

### We need your help!

●主要顧客:官公庁、民間企業

AIの進化に伴い、通訳者や翻訳者は不要になるのでしょうか? 答えは No! 私どものクライアントの多くは「人間による、心のこもった正確な通訳・翻訳」を求めています。皆さまのお力をお貸しください!

英語、仏語、アジア言語

英語、仏語、アジア言語

間による、 求めています。 ! ③ チェッカー 英語、



AIに負けない

、材募集!

4 コーディネーター コミュニケーションの好きな方

通訳・翻訳・制作(デザイン・印刷) (##) エクミル・・イン・クー・ナミル

① 通訳者 (同時/逐次

2 翻訳者

(株)エクシム・インターナショナル EXIM INTERNATIONAL, INC.



**23** 03-3431-2118 URL:https://www.exim-int.com/

〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-16 第3粕谷ビル3F ◆TEL 03-3431-2118 ◆E-mail: tokyo@exim-int.com

Chairman 永島 克彦 (14期) Advisor 比奈地 康晴 (14期)

### 松本中央法律事務所



【取扱分野】企業法務一般・契約締結交渉・ 英文契約書・離婚・男女問題・労働問題・ 遺言・相続・個人情報保護対応・環境問題 債務整理・刑事弁護・各種研修など

### 弁護士

### 松本典子

MATSUMOTO, Noriko 理学科生物学専攻卒業 (ID01)

- ◎ 東京都中央区日本橋小網町8-2
- **6** 03-5776-2435
- ĭnfo@m-laws.jp
- ⊕ www.m-laws.jp

懇切丁寧に対応致します。 お気軽にお問い合わせください。



### 2025年3月29日(土)開催 桜祭りのお知らせ

今年第20回を数える同窓会「桜祭り」は、同窓会年次総会、DAY賞表彰式、卒業50周年記念式典など、年に一度の総合イベントです。 卒業50周年記念式典では19期生をお迎えします。是非ともご参集くださいますようお願い申し上げます。

●開催日:2025年3月29日(土)開始13:00(開場12:30)

●対象:全同窓会会員●プログラム/会場:

第1部:同窓会総会、DAY 賞表彰式、卒業50周年記念式典 於:大学礼拝堂

第2部:懇親会(茶会) 15:00頃を予定 於:大学食堂

●参加費:第1部 無料

第2部 卒業生/成人2000円、ICU 在学生:1000円、同伴中高大学生:1000円、

小学生以下:無料

※19期生、2024年夏季及び2025年春季ご卒業の皆様は、懇親会を「無料ご招待」となります。

●要参加申込:ご出欠(現地参加および配信視聴)は以下の出欠フォームまたは同窓会ウェブサイトからお知らせください。

申込締切:3月19日(水)

https://forms.gle/BwMrzJ84NZ3bSJRr5

総会の様子は同時配信されます。映像は一方通行で視聴のみになりますので、総会の議決への参加をご希望の方は上記出欠フォームから委任状をご提出下さい (下記「出欠連絡の項目」最後行を参照)。

※卒業50周年の19期生の皆様は別途お送りするご案内状からご連絡ください。

※プログラムに変更が生じる可能性がございます。詳細は、同窓会Webサイトでご確認ください。https://www.icualumni.com/



メールまたは郵送での出欠連絡の場合は以下の項目を明記してください。

- \*出席者氏名と Name (in alphabet) (必須)
- \*期/卒業年/ID最初の2桁(必須)
- \*卒業時の姓(現在と異なる場合)
- \*連絡先(必須)
- \*総会への出欠(必須)
- \* 懇親会への出欠と同伴者情報 (必須)
- \*総会で議決権を他の会員に委任する場合、委任する会員氏名と卒業年(空欄時は会長に一任といたします)

<お問合せ>

ICU 同窓会事務局 aaoffice @ icualumni.com TEL&FAX 0422-33-3320 (平日10:00~12:00、13:00~17:00) 〒180-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2

国際基督教大学 アラムナイハウス2F

### Sakura Matsuri on March 29, 2025

The Alumni Association's "Sakura Festival" is a comprehensive annual event, comprising the annual General Assembly, the Distinguished Alumni of the Year Awards, and a semicentennial celebration of graduation, which the class of 1975 is invited this year.

● Date & Time: March 29, 2025 (Sat) from 13:00-14:45 (Doors open at 12:30)

**Program:** 

Part1: General Assembly, DAY Award Ceremony, Semicentennial Ceremony at University Chapel

Part2: Tea Party: at University Dining Hall, from 15:00

•Fee:

Part1: Free

Part2: graduate/adult: JPY2,000, university/high school student: JPY1,000, elementary school student/preschooler: free of charge

\*The class of 1975 as well as graduates of Summer 2023 and Spring 2024 are free of charge.

Part1 will be live-streamed. The streaming is one way and viewers are not able to vote in polls. Those who would like to make a vote should submit a proxy in advance. (See the attendance form.)

Note: Please submit the attendance form below if you are going to participate or make a proxy vote. Due: March 19 (Wed)

https://forms.gle/BwMrzJ84NZ3bSJRr5

\*If you are one of the class of 1975, please use the form on the invitation.

\*\*Please check the Alumni Association website for changes and details. https://www.icualumni.com/





ICU Alumni Association Office aaoffice@icualumni.com

### DAY賞 (Distinguished Alumni of the Year Award) 2025受賞者決定!



神保哲生

JIMBO, Tetsuo (29 ID85) 社会科学科卒

1961年、東京都生まれ。15歳で渡米 し、80年コロンビア大学に入学。そ の後、一時帰国しICUに転籍。85年、 教養学部社会科学科卒。87年コロン ビア大学ジャーナリズム大学院修士課 程修了。クリスチャン・サイエンス・ モニター、AP通信など米国の報道機 関の記者を経て独立、99年、日本初 のニュース専門インターネット放送局 「ビデオニュース・ドットコム」を設 立し代表に就任。記者自身がビデオカ メラを用いて取材を行う「ビデオジャ ーナリスト」として、地球環境、国際 政治、メディア倫理を中心に様々なテ ーマで映像リポートや著書などを発表 している。趣味はラグビーで、桐蔭学 園、ICU、コロンビア大時代はいずれ もラグビー部でプレーした。

Mr. Tetsuo Jimbo was born in Tokyo in 1961. At the age of 15, Mr. Jimbo moved to the United States, enrolling at Columbia University. Mr. Jimbo then transferred to ICU, graduating from the Department of Social Sciences, College of Liberal Arts in 1985. Mr. Jimbo then returned to Columbia and earned master's degree in journalism at the Graduate School of Journalism in 1987. After working as a reporter for US news organizations such as the Christian Science Monitor and the Associated Press, Mr. Jimbo went independent and in 1999 founded "videonews.com", Japan's first video news station on Internet. As a pioneer in videojournalism, where journalists themselves use a video camera as a tool of reporting, Mr. Jimbo specializes in global environment, international politics, and media ethics, and produced a number of award-winning films. He has also authored and translated many books.



### 星野博美

HOSHINO, Hiromi (32 ID88) 社会科学科卒

作家、写真家。ICU在学中に香港中文 大学との交換留学のため香港に滞在。 中国返還を挟む1996年8月から1998 年10月に、改めて香港に暮らし、広 東語で市井の人々と交流した日々を 『転がる香港に苔は生えない』にまと め、第32回大宅壮一ノンフィクショ ン賞を受賞。祖父が晩年に残した手記 をもとに、自身のルーツを遡り、江戸 時代に紀州から房総に移住した祖先の 足跡を辿った『コンニャク屋漂流記』 で第2回いける本大賞、第63回読売文 学賞随筆・紀行賞を受賞した。同じく その手記を紐解きながら、祖父の代か ら一家が住む地域を、自分の身体感覚 から「大五反田圏」と設定し、戦時下 から現在に至るまで描いた『世界は五 反田から始まった』で第49回大佛次 郎賞を受賞。自分の延長として社会を 観察し、客観と主観を織り交ぜながら、 時に優しく、時に厳しく、時にユーモ アを交え、時に痛みを伴って、世界を 言葉と写真で表現し続けている。

Writer and photographer, lived in Hong Kong as an exchange student with the Chinese University of Hong Kong while a student at ICU. She lived in Hong Kong again from August 1996 to October 1998, between the China conversion, and wrote a book about her days there as "No Moss Grows in Rolling Hong Kong." The book won the 32nd Souichi Oya Nonfiction Award. Based on a memoir left by her grandfather in his later years, she traced her roots back to her own ancestors who emigrated from Kishu to Boso in the Edo period, and published "Konyaku-ya Hyoryu-ki" (winner of the 2nd Ikeru Book Award and the 63rd The Yomiuri Prize for Literature). She also won the 49th Osaragi Jiro Prize for "The World Began in Gotanda", which describes the area where her family has lived since her grandfather's generaas an extension of herself, she words and photographs, interweaving the objective and the



### 石山アンジュ

ISHIYAMA, Anju (56 ID12) アーツ・サイエンス学科卒

2012年にICUを卒業後、新卒でリク ルートに勤務し、その後クラウド事業 に参画。2018年にはミレニアル世代 に焦点を当てたシンクタンク、 Public Meets Innovationを設立し、 代表を務める。また、デジタル庁シェ アリングエコノミー伝道師をはじめ、 多数の公職を通じて、政策の推進や規 制緩和に関与し、政府と民間の架け橋 としての役割を担っている。さらに、 一般社団法人シェアリングエコノミー 協会代表理事としても活躍中。テレビ 朝日「羽鳥慎一モーニングショー」な どにコメンテーターとして定期出演し、 また著書には『シェアライフーー新し い社会の新しい生き方』、シェアリン グエコノミーを通じた社会の未来を描 くなど、幅広いメディア活動を展開、 「シェア」の思想を通じて、新しいラ イフスタイルを提案に尽力。

Anju Ishiyama is a social activist and a prominent figure in Japan's sharing economy landscape. She has dedicated her career to advocating for and promoting the principles of the sharing economy throughout the country. Her efforts extend beyond spreading awareness; she is actively involved in regulatory reform and policy-making to create a supportive environment for sharing initiatives.

As the founder of Public Meets Innovation Japan, a think tank established in 2018, Anju plays a pivotal role in shaping discussions among millennial leaders. Anju holds significant public roles. She serves as the representative director of Sharing Economy Association Japan, where she bridges the gap between government policies and private sector innovations. Her contributions are vital in facilitating dialogue and cooperation among various stakeholders in the sharing economy. Additionally, as a Sharing Economy Evangelist for the Japan Digital Agency, Government of Japan, she acts as a key link between government initiatives and public interests, guiding the nation toward a more integrated and sustainable sharing economy. Anju's insights and experiences are captured in her book, "SHARE LIFE - Dive into Sharing Economy," and she frequently shares her expertise as a commentator on leading TV news shows. Furthermore. she is a member of the World Economic Forum Global Future Council Japan. Her work continues to inspire and advance the sharing economy movement in Japan and beyond.

### **STAFF**

**EDITOR IN CHIEF** 長谷川由紀 HASEGAWA, Yuki(32 ID88)

MANAGING EDITOR

松田真理子 MATSUDA, Mariko (38 ID94)

**EDITORS** 

望月厚志 MOCHIZUKI, Atsushi (26 ID82) 新村敏雄 SHINMURA, Toshio (27 ID83) 楢木りら NARAKI, Rira (26 ID82)

福本高宏 FUKUMOTO, Takahiro (32 ID88)

今井 順 IMAI, Jun (34 ID90) 太田順子 OOTA, Junko (35 ID91) 亀山詩乃 KAMEYAMA, Shino (54 ID10)

谷澤 聡 TANIZAWA, Satoshi (54 ID10) 滝沢貴大 TAKIZAWA, Takahiro (62 ID18)

**PHOTOGRAPHER** 

松島眞理 MATSUSHIMA, Mari (36 ID92)

ART DIRECTOR

佐野久美子 SANO, Kumiko (44 ID00)

PRINTING DIRECTOR

坂井 健 SAKAI, Takeshi(小宮山印刷)

SECRETARY GENERAL

池島広子 IKESHIMA, Hiroko (27 ID83)

**PUBLISHER** 

廣岡敏行 HIROOKA, Toshiyuki (31 ID87)

cover photo: ICUパブリックリレーションズ・オフィス

### ご意見・ご感想をお気軽に

アラムナイニュースは、同窓生のみ なさまのために制作しているものです。 今後の制作の参考にしますので、ご意 見・ご感想、企画や人物の紹介等があ る方は、メールにてお気軽に事務局ま でお知らせください。

### アラムナイニュース編集部員募集

あなたの経験をANに生かしてみま せんか?企画、取材、執筆、撮影、編 集進行等を一緒にやって頂ける方を大 募集中です。もちろん未経験でも可。 最初は一緒に取材などを行いながら編 集のプロから直接技術を学べますし、 3年ぐらいやれば、一通り編集の基本 が身に付きます。もちろん、現役の学 生さんも大歓迎です。興味のある方は、 同窓会事務局へメールでご連絡くださ い。

### aoffice@icualumni.com

■大学・同窓会に関する情報が満載です。

ぜひ一度ご覧ください。

同窓会Webサイト

https://www.icualumni.com/

同窓会 Facebook

https://www.facebook.com/icualumniassociation 大学 Web サイト https://www.icu.ac.jp/

JICUFWeb サイト https://www.jicuf.org/

■ ICU 同窓会事務局

〒 181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2

TEL&FAX: 0422-33-3320 Email: aaoffice@icualumni.com

